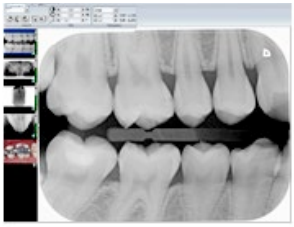
VistaEasy 5.7

ドライバのインストール＆設定



取扱説明書

DÜRR DENTAL

2015/03/27

項目

インストール

1. ソフトウェアのインストール . . . 3
2. USBドライバのインストール . . . 3
2.1 デバイスマネージャでの確認 . . . 4

ビスタスキャンの設定

3. ビスタスキャン接続設定 . . . 5
3.1 ビスタスキャン ミニ . . . 5
3.1.1 LANケーブル／ネットワークの接続設定 . . . 5
3.1.2 デバイス名称の変更 . . . 6
3.2 ビスタスキャン／プラス／ペリオ . . . 6
3.3 スタンバイ設定 . . . 8
3.3.1 ビスタスキャン ミニのスタンバイ設定 . . . 8
3.3.2 ビスタスキャン プラス／ペリオのスタンバイ設定 . . . 8
3.4 ビスタスキャン ミニのディスプレイ表示設定 . . . 9
3.5 スキャンのテスト . . . 10
3.6 オシロスコープモード . . . 10
3.7 デンタル撮影のパラメーター設定 . . . 11
3.7.1 IPを均質に照射する . . . 11
3.7.2 照射量をVistaConfigで解析 . . . 11
3.7.3 照射量をDBSWINで解析 . . . 13
3.8 スキャン設定 . . . 14
3.8.1 X線装置の照射量の設定 . . . 14
3.8.2 ヒストグラムで撮影設定の確認 . . . 14
3.8.3 スキャンモードパラメータ設定 . . . 15
3.8.4 PMTのHV値と閾値の設定 . . . 16
3.8.5 スキャン後自動画像処理 . . . 16
3.8.6 スキャン解像度の設定 . . . 16
3.8.7 スキャンモードの新規作成／コピー . . . 16
3.8.8 レベル予備設定 . . . 17

ビスタスカムの設定

4. デバイス設定 . . . 18

フットスイッチの設定

5. デバイス設定 . . . 20

ビスタスキャン＆他社製ソフトウエア

6. 他社製ソフトウエアを使用して画像を取り込む . . . 21
6.1 D'To:Iboxで簡単設定 . . . 21
6.1.1 他社製ソフトウエアをご使用の場合 . . . 21
6.1.2 画像挿入機能のリカバリー . . . 21
6.1.3 オプションの画像処理フィルタ . . . 21
6.2 タスク設定 . . . 22
6.3 ビスタイージー自動起動 . . . 22
6.4 スキャン作業の終了方法 . . . 23
6.5 VistaScanConfig.ini設定 . . . 24
6.6 TWAIN設定 . . . 24
6.7 ビスタイージービュー . . . 25
6.7.1 ビスタイージービューを表示するための設定 . . . 25
6.7.2 画像挿入 . . . 25
6.7.3 ビスタイージービューでの画像処理 . . . 26
6.8 TWAINインターフェイス使用 . . . 27
6.8.1 TWAINソースの選択 . . . 27
6.8.2 TWAINで画像挿入 . . . 27
6.9 各他社製ソフトウエアについて . . . 28
6.9.1 コダック社Trophy . . . 28
6.9.2 インスツルメンタリウム社Cliniview . . . 29
6.9.3 シロナ社 Sidexis／ジェンデックス社 VixWin . . . 29

ビスタスカム＆他社製ソフトウエア

7. 他社製ソフトウエアを使用して撮影 . . . 30
7.1 TWAINインターフェイス使用 . . . 30
7.1.1 TWAINソースの選択 . . . 30
7.1.2 TWAINで画像挿入 . . . 30

トラブルシューティング

8. ビスタスキャンの全モデル共通 . . . 32
8.1 問題のあるスキャン画像 . . . 32
8.2 IPやプレートガイドが詰まって出てこない . . . 32
8.3 臼歯部画像のスキャン後の自動回転 . . . 33
8.4 エラーメッセージのリスト . . . 34
8.5 ビスタスキャン／プラス／イントラ . . . 45
8.5.1 スキャンした画像に微かに横線が入る . . . 45
8.5.2 スキャンした画像に縦線が出る . . . 45
8.5.3 挿入口のLEDが緑色になっていてもIPが搬送されない 45
8.5.4 デンタルIPだけが搬送されない／パノラマは搬送される 45
8.5.5 パノラマ又はセファロスキャンに大きな白い枠がつく . . . 45
8.5.6 パノラマ、セファロの画質が良くない . . . 45
8.6 ビスタスキャン ペリオ . . . 46
8.6.1 プレートガイドが詰まって出てこない . . . 46
8.6.2 プレートガイドが搬出口に挟まってしまい、出てこない . 47
8.6.3 画像が重なって見える . . . 47
9. ビスタスキャン ミニ . . . 48
9.1 ファームウェアの更新 . . . 48
10. 他社製ソフトで画像挿入する際のトラブル . . . 49
10.1 画像修復 . . . 49
10.2 画像挿入時、他社製ソフトがフリーズ／クラッシュしてしまう 50
10.3 他社製ソフトでの画像挿入ができなくなってしまった 50
11. エラー申告方法 . . . 51
12. エラー画像の例 . . . 52

インストール

1. ソフトウェアのインストール

インストールのディスクをドライブに入れ、Start.exe を起動してください。スタートメニューで「ドライバ＆プラグイン」のタブをクリックします。次に「ビスタイージーのインストール」をクリックすると、インストールを開始します。インストール画面の指示に従って行ってください。

2. USBドライバのインストール

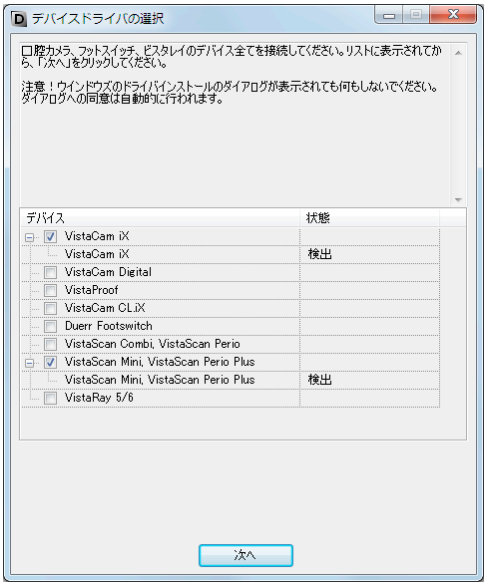
a) DBSWIN又はVistaEasyが全くインストールされていないパソコンの場合はインストールのディスクからインストールします。スタートメニューで「ドライバ＆プラグイン」のタブをクリックします。次に「デュールデンタル ドライバセットアップ」をクリックすると、インストールを開始します。インストール画面の指示に従って行ってください。

b) インストール済みの場合、Windows「スタート」ボタン⇒「すべてのプログラム」⇒「Duerr Dental」⇒「Driver Setup」の中の「Driver Setup」を起動します。

「デバイスドライバの選択」のダイアログが表示されたら、ご使用の画像情報デバイスをパソコンのUSBポートに接続してください。ドライバのインストール画面に従ってドライバをインストールしてください。

接続したデバイスが自動的に認識されない場合、又は接続されていないデバイスのドライバをインストールしたい場合は、そのデバイスにチェックを入れ「次へ」をクリックします。

デバイスを接続するよう指示された場合、「スキップ」をクリックすれば、デバイスを接続しなくてもドライバをインストールすることができます。

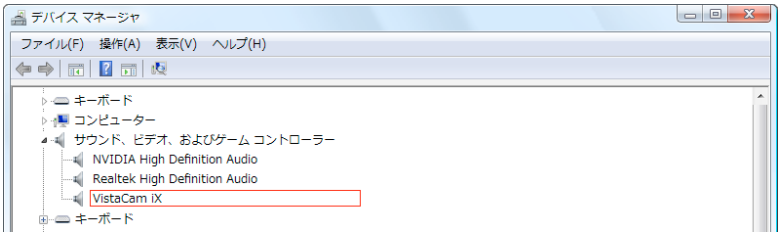


USB3.0の接続ポートをご使用でデバイスが認識できない場合、ドライバをインストールしてからデバイスを接続（再接続）してください。機能しない場合は別のUSBポートに接続してみてください。

2.1 デバイスマネージャでの確認

USBケーブルで接続されたビスタスキャンのデバイスが正しくインストールされると、Windowsのデバイスマネージャに表示されます。

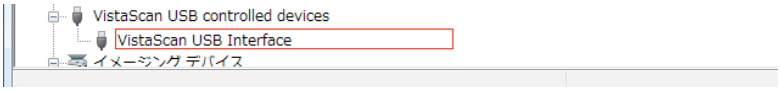
VistaCam iX:



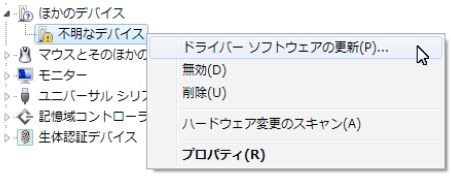
VistaCam Digital:

VistaScan Mini(USB接続):

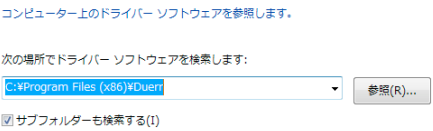
VistaScan／VistaScan Plus／VistaScan Perio(USB接続):



Windowsがドライバを正しくインストールできなかった場合、デバイスマネージャで「ほかのデバイス」で「不明なデバイス」の項目が表示されます。



「不明なデバイス」の項目上を右クリックし、「ドライバーソフトウェアの更新」を選んでください。以下の場所からドライバを更新してください。



ビスタスキャンの設定

ビスタスキャンの設定はVistaConfig（ビスタコンフィグ）のソフトウェアで行えます。お使いのデバイスによって以下の章に従い設定を行ってください。

3. ビスタスキャン接続設定

ビスタスキャンをLANケーブル又は無線LANで接続する場合以下の点にご注意ください：

〇ご使用のネットワーク機器（サーバー、ハブ、LANスイッチ、ルータ）の電源を入れてください。

〇ご使用のファイアーウォールでTCPポート2006とUDPポート514のブロックが解除されていることを確認してください。ウインドウズのファイアーウォールをご使用の場合、ドライバインストールの際にポートのブロックを解除するための問いかけをします。

〇ビスタスキャンミニの接続方法（例えばUSBからLANケーブルへ）を変更するには、使用しないケーブルを抜いてから、本体の電源を入れなおしてください。

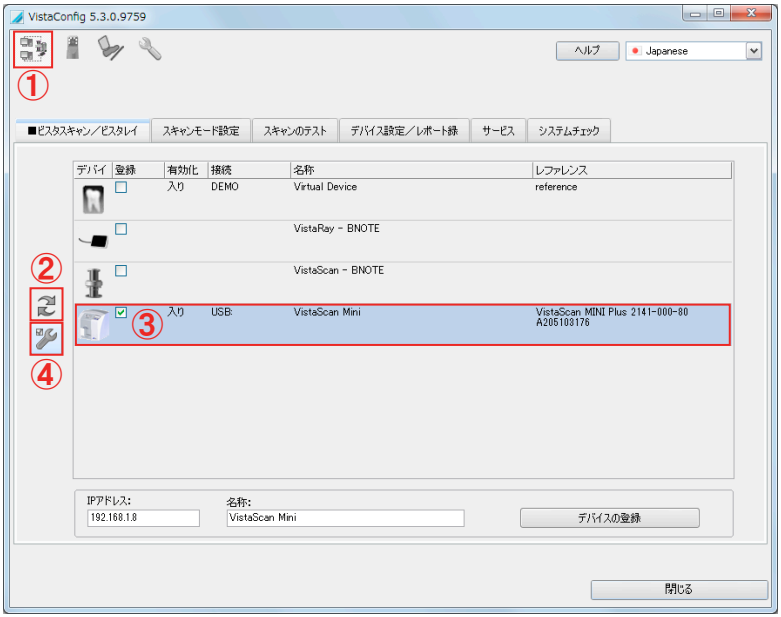
3.1 ミニ／ミニビュー／コンビビュー

①「ビスタスキャン／ビスタレイ」のボタンをクリックしてください。

②「ネットワーク上／USB接続のデバイスを再検索」のボタンをクリックしてください。

③リストからデバイスを選んで、「登録」のボックスにチェックを入れてください。

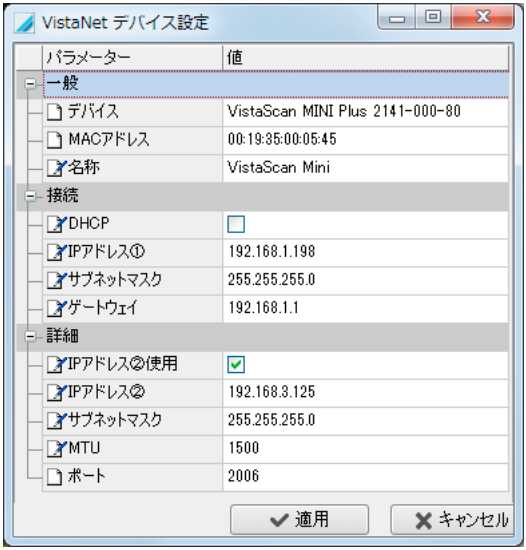
複数のビスタスキャンを接続する場合にも、複数の機器を登録できます。
リスト内の「Virtual Device」はテストのためのバーチャルデバイスで実在しません。

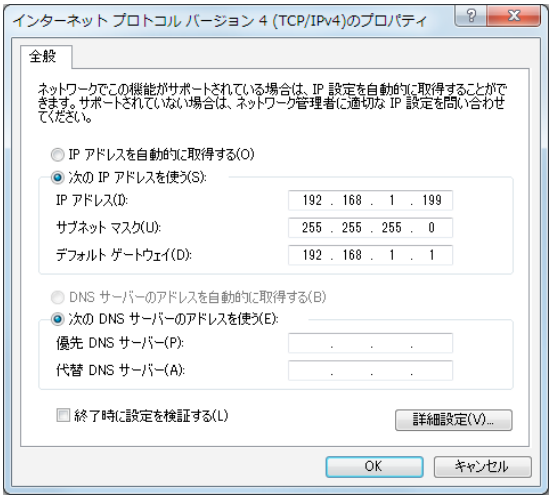


④リストからビスタスキャンのデバイスを選び、「デバイス設定」のボタンをクリックすると「VistaNet デバイス設定」のダイアログが表示されます（次頁に続く）。

LANで接続されているビスタスキャンが表示されない場合、画面下の「IPアドレス」欄に本体のディスプレイで表示されているIPアドレスを入力、「名称」をVistaScanにして、「デバイスの登録」ボタンをクリックするとデバイスを追加することができます。

3.1.1 LANケーブル／ネットワークの接続設定





「VistaNet デバイス設定」のダイアログでは、名称やIPアドレスなどを変更したり、機器の情報を表示します。

以下のように、固定したIPアドレスを設定することをお勧めします。

〇DHCPのチェックを外してください。

〇ご使用のネットワーク／パソコンに合わせて、IPアドレス、サブネットマスクとゲートウェイを入力してください。

〇「適用」をクリックして設定を保存してください。

（USB接続の場合には、IPアドレスなどの設定は必要ありません。）

デバイスのリセットボタンを押しながら電源を入れてそのまま押し続け、15～20秒後に本体のディスプレイに確認メッセージ「Factory Reset」が表示されると、ネットワーク設定が初期設定に戻ります。

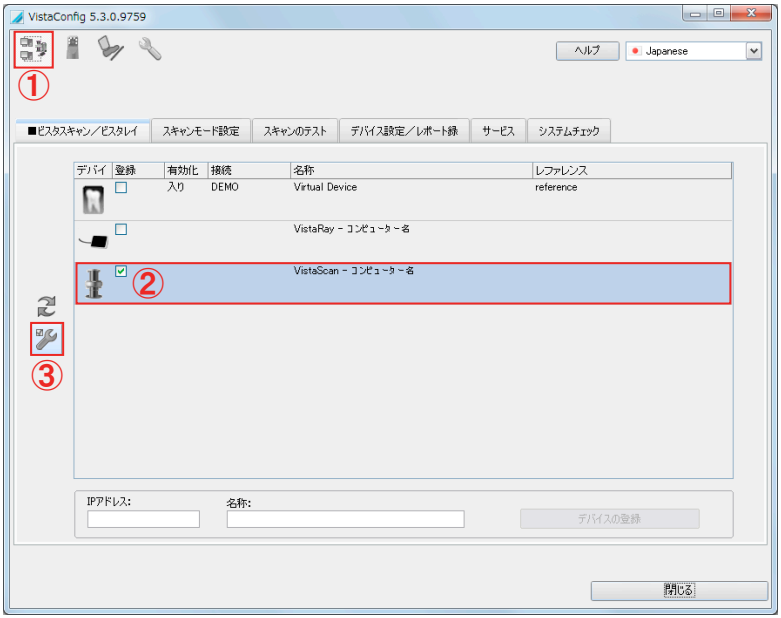
ビスタスキャンミニのディスプレイに、接続方法が表示されます。USB接続の場合、「using USB」又はLANネットワーク接続の場合、有効なIPアドレスが表示されます。

3.1.2 デバイス名称の変更

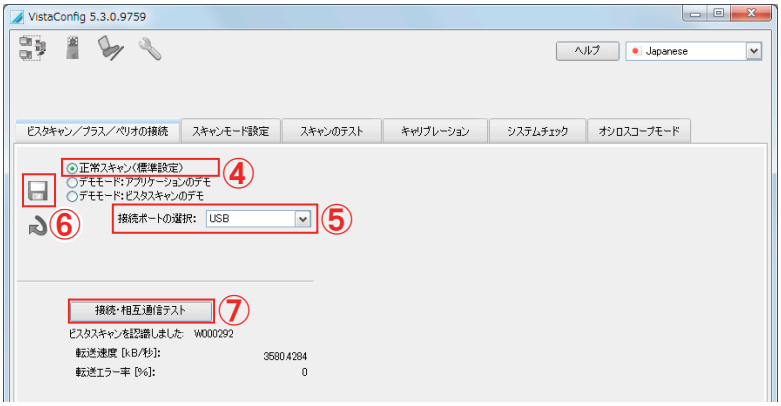
上記の「VistaNet デバイス設定」のダイアログで、デバイスの名称を変更できます。この名称は画像挿入画面で表示されます。

3.2 ビスタスキャン／プラス／ペリオ

①「ビスタスキャン／ビスタレイ」のボタンをクリックしてください。
②リストからビスタスキャン／プラス／ペリオのデバイスを選びます。
③「デバイス設定」のボタンをクリックすると「ビスタスキャン／プラス／ペリオの接続」のページ（下側の図）が表示されます。（Virtual Deviceを選択してしまった場合、エラーメッセージが表示されますが、無視してください）。



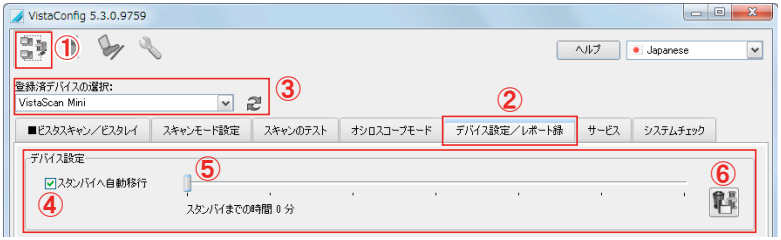
④「正常スキャン」を選択します。
⑤「接続ポート」でUSB又はLPTの接続方法を選択します。
⑥「保存」ボタンをクリックしてください。
⑦「接続・相互通信テスト」のボタンをクリックするとビスタスキャンに接続します。認識したビスタスキャンの製造番号と転送速度が表示されます。



3.3 スタンバイ設定

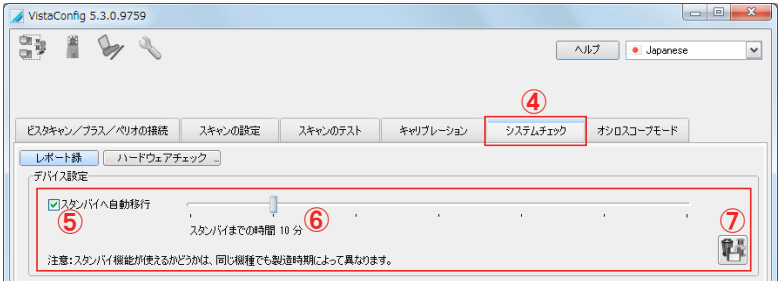
3.3.1 ビスタスキャン ミニのスタンバイ設定

①「ビスタスキャン／ビスタレイ」のボタンをクリックします。
②「デバイス設定／レポート録」のタブをクリックします。
③ドロップダウンリストから「VistaScan Mini」のデバイスを選びます（Virtual Deviceを選択してしまった場合、エラーメッセージが表示されますが、無視してください）。
④「スタンバイへ自動移行」にチェックを入れます。
⑤スライダーでスタンバイまでの時間をセットします（0分だと、スキャン終了後すぐスタンバイになります）。
スタンバイまでの時間の設定「0分」をお勧めします。
⑥「保存」ボタンで設定を保存します。



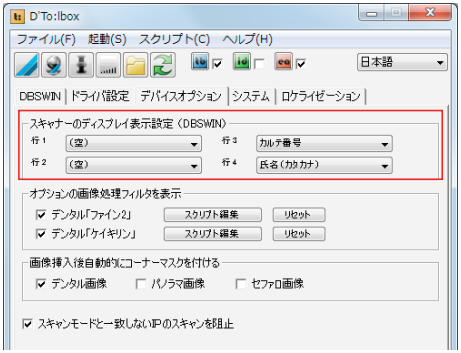
3.3.2 ビスタスキャン プラス／ペリオのスタンバイ設定

○「ビスタスキャン／ビスタレイ」のボタンをクリックします。
○リストからビスタスキャン／プラス／ペリオのデバイスを選び、「デバイス設定」のボタンをクリックすると「ビスタスキャン／プラス／ペリオの接続」のページ（下図）が表示されます。
④「システムチェック」のタブを選びます。
⑤「スタンバイへ自動移行」にチェックを入れます。
⑥スライダーでスタンバイまでの時間をセットします（0分だと、スキャン終了後すぐスタンバイになります）。
スタンバイまでの時間の設定「0分」をお勧めします。
⑦「保存」ボタンで設定を保存します。
注意：スタンバイ機能が使えるかどうかは、同じ機種でも製造時期によって異なります。



3.4 ビスタスキャン ミニのディスプレイ表示設定

DBSWINで画像挿入をする時、ビスタスキャン ミニのディスプレイに患者やタスクの情報を表示することができます。表示項目はD'To:lbox又はGDBS.INIファイルで設定することができます。



ディスプレイの表示項目の設定は、
D'To:lbox（Dツールボックス）で行います。

GDBS.INI：セクション[ScannerDisplayConfiguration]でRow0～4各行のディスプレイ表示設定ができます。

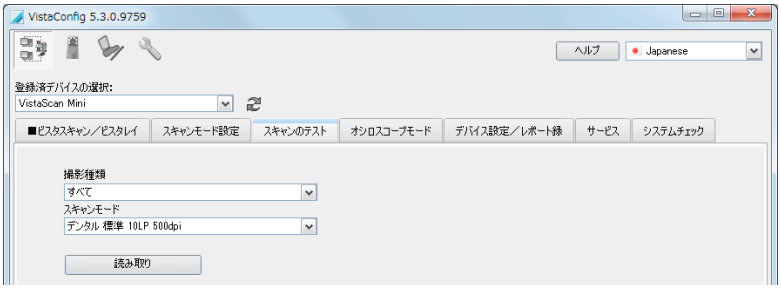
DBSWINデータ	GDBS.INI Row0～4の設定	コメント
ー	（空）	この行を非表示
カルテ番号	PatientID	初期設定を3行目に表示
氏名（カタカナ）	PatientLastName	初期設定を4行目に表示
氏名（漢字）	PatientFirstName	注意：漢字、平仮名での表示はできません。
DBSWINコンピュータ名	StationName	DBSWIN→設定→システム→コンピュータ名
スキャンモード名	ScanModeName	注意：スキャンモード名の漢字と平仮名は以下のようにアンダーラインで表示されてしまいます。 例：デンタル 最適 25Lp → デンタル _ _ 25Lp
画像情報	ImageDescription	レントゲン撮影ダイアログ/シリーズ撮影時の歯番、又は画像種類の情報を表示します。 注意：漢字、平仮名での表示はできません。
担当医	RegularDoctor	注意：漢字、平仮名での表示はできません。
DICOM受け入り番号	DICOMAccessionNumber	
Windowsコンピュータ名	ComputerName	

ビスタスキャン ミニのディスプレイにはローマ字かカタカナしか表示できません。漢字及び平仮名はアンダーラインで表示されてしまいます。

他社製のソフトウェアで画像挿入時は、他社製のタスクファイルに従ってディスプレイに項目が表示されます。上記の設定は、他社製ソフトウェアを使用する場合には必要ありません。

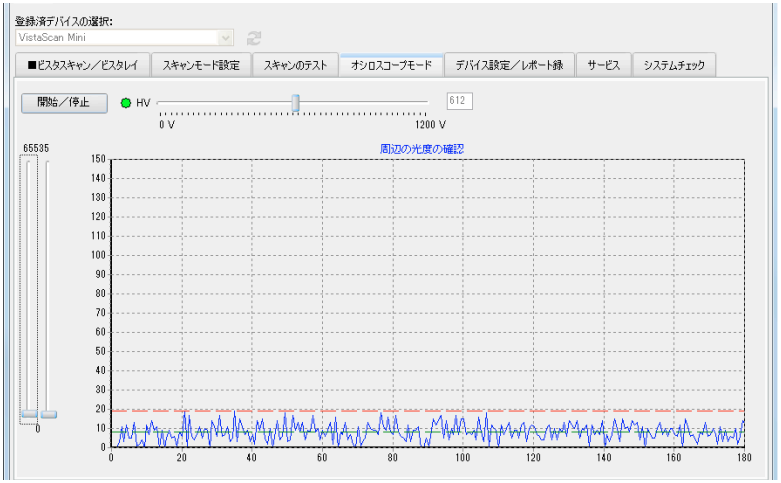
3.5 スキャンのテスト

設定と接続が正しいかどうかを確認するために「スキャンのテスト」タブで撮影したIPの画像を挿入することができます。
〇「スキャンのテスト」のタブを選びます。ビスタスキャンミニの場合のみ：登録済みデバイスと撮影種類を選択します。
〇スキャンモードを選択します。
〇「読み取り」のボタンをクリックします。
〇IPを本体でスキャンしてください。
〇ビスタイージービューに表示された画像を確認してください。



3.6 オシロスコープモード

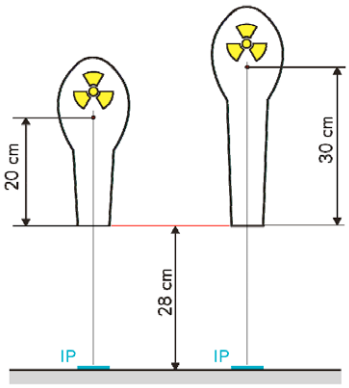
ビスタスキャンが設置されている室内が明るすぎないか、デバイスに光が入りすぎていないかを確認できる。
〇「オシロスコープモード」のタブを選びます。
〇ビスタスキャンプラスの場合、全ての挿入口にカセットを差し込んだ状態にしてください。
〇水平のHVスライダーをスキャンモードで使用している中で一番高い設定にしてください。
例：プラス→1100、ペリオ→650、ミニ→610
〇一番左の縦のスライダーを下げ（例：プラス／ペリオ→約360、ミニ→約220）表示範囲を設定してください。
〇「開始・停止」ボタンをクリックすると、グラフに表示される折れ線が、機器に入り込む光の量を表します。
〇最高値が約300以下であれば問題ありません。それ以上になってしまう場合は、設置場所の照明を落とす、場所を移動する、本体の向きを変えるなどの措置をとる必要があります。



3.7 デンタル撮影のパラメーター設定

3.7.1 IPを均質に照射する

均質に照射したイメージングプレートを使ってビスタスキャンの最適な照射量の設定を確認できます。IPを均質に照射するには、チューブの長さに関わらず、IPとチューブ先端の間隔を28cm空けます。

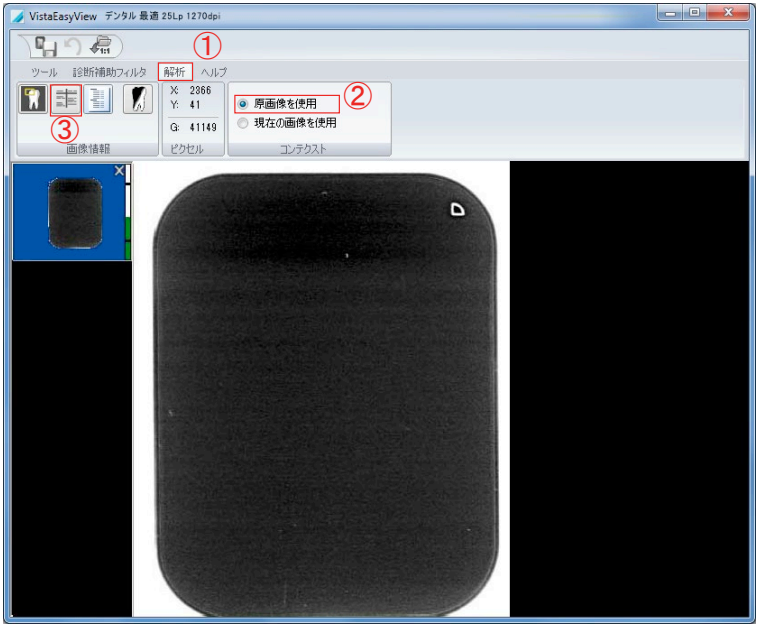


消去済みのIPを保護カバーに入れ、水色の照射面をチューブ側に向け、チューブから28cm離した中央に位置づけて照射します。撮影パラメーター（電流 mA、電圧 kV、照射時間 ms）は、通常奥歯に使用する値（例：20cmチューブの場合：7mA/60kV/200ms。30cmチューブの場合：照射時間を50%長くします）にしてください。

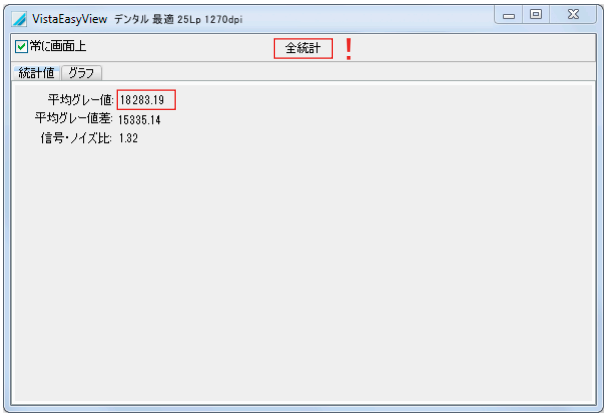
その後IPをVistaConfig又はDBSWINで読み取り、解析します。VistaConfig又はDBSWINのどちらを使用するかによって、以下の章をご覧ください。

3.7.2 照射量をVistaConfigで解析

均質に照射したIPをVistaConfigの「スキャンのテスト」のタブで読み取ります。読み取った画像が表示されます。



①「解析」のタブを選択してください。
②「コンテクスト」で「原画像を使用」を選択してください。
③「画像統計」のボタンをクリックしてください。「統計」の画面が表示されます。



統計の画面で、平均グレー値が約18.000になると、使用した照射量は上顎大臼歯の撮影時に適正な値となります。値が18.000以下の場合は、約18.000になるまで照射時間を長くしてください。
設定を変更してもその値に達しない場合は、16.000～20.000の値でも構いません。

適切な撮影パラメーターは電流6,5～8mA（最適7mA）と電圧60～75kVです。それより低い電流圧のX線装置は、画像が不鮮明になるためお勧めできません。

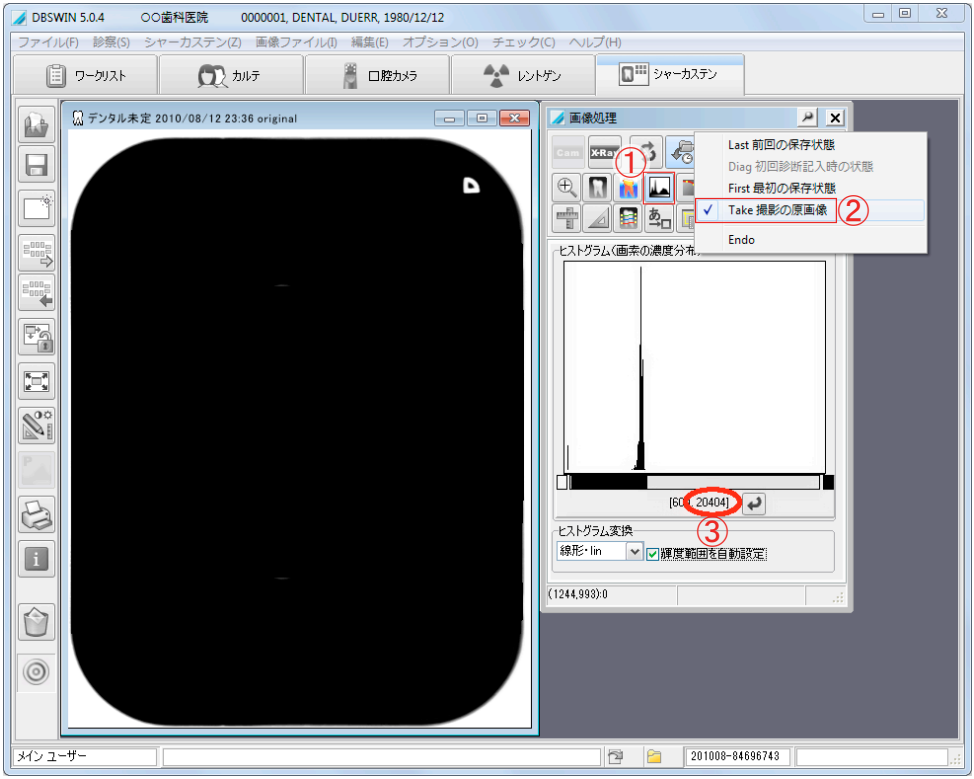
〇算出したパラメーターは上顎大臼歯の撮影時に使用します（例：7mA、60kV、200ms）。
〇犬歯（上下共に）の場合は、照射時間が約半分になります（例：7mA、60kV、100ms）。
〇小臼歯（上下共に）の場合は、照射時間が中間となります（例：7mA、60kV、150ms）。
〇下顎大臼歯は、小臼歯と同じパラメーターで撮影します。

X線照射量測定器で測定するとイメージングプレートの平均グレー値19.500は、約200μGyになります。

注意：スキャナーに不具合があると、上記の値が全く異なります。
〇20cmチューブの通常値：7mA、60kV、200ms 又は 7mA、70kV、160ms
〇30cmチューブの通常値：7mA、60kV、320ms 又は 7mA、70kV、260ms

3.7.3 照射量をDBSWINで解析

均質に照射したIPをDBSWINで読み取り、シャーカステンで開きます。



①「画像処理」で「ヒストグラム」を開きます。

②「保存状態の選択」で「Take 撮影の原画像」を選択します。

③ヒストグラムの下に諧調の値が表示されます。

図中赤く囲った値(3)が約22.000になると、使用した照射量は上顎大臼歯の撮影時に適正な値となります。値が22.000以下の場合は、約22.000になるまで照射時間を長くしてください。

設定を変更してもその値に達しない場合は、20.000～24.000の値でも構いません。

適切な撮影パラメーターは電流6,5～8mA(最適7mA)と電圧60～75kVです。それより低い電流圧のX線装置は、画像が不鮮明になるためお勧めできません。

○算出したパラメーターは上顎大臼歯の撮影時に使用します(例:7mA、60kV、200ms)。
○犬歯(上下共に)の場合は、照射時間が約半分になります(例:7mA、60kV、100ms)。
○小臼歯(上下共に)の場合は、照射時間が中間となります(例:7mA、60kV、150ms)。
○下顎大臼歯は、小臼歯と同じパラメーターで撮影します。

X線照射量測定器で測定するとイメージングプレートの平均グレー値24.000は、約200μGyになります。

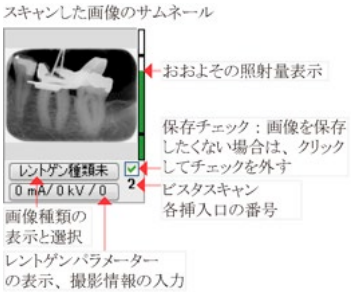
注意:スキャナーに不具合があると、上記の値が全く異なります。
○20cmチューブの通常値:7mA、60kV、200ms 又は 7mA、70kV、160ms
○30cmチューブの通常値:7mA、60kV、320ms 又は 7mA、70kV、260ms

3.8 スキャン設定

通常はスキャンモードのパラメータを変更する必要はありません。ただし、レントゲン装置の機種によっては、高画質を得るために、スキャン設定を調整する必要があります。

3.8.1 X線装置の照射量の設定

照射量はフィルム撮影の場合と同じ設定でも構いませんが、低めに設定することをお勧めしております。低くした照射量で撮影しても診断に必要な画質が十分に保たれます。照射量の高低はスキャンモードのHV値で調整してください。画像サムネイル右側の緑のバーでおおよその照射量が表示されます。ここには照射量とHV値の合計が表示されます。緑の部分が全体の3分の2以上であれば理想的です。もしそれより低い場合は、HV値か照射量を上げてください。逆に表示が高すぎる場合は、照射量かHV値を下げてください。画質と照らし合わせて最適な照射量を設定してください。

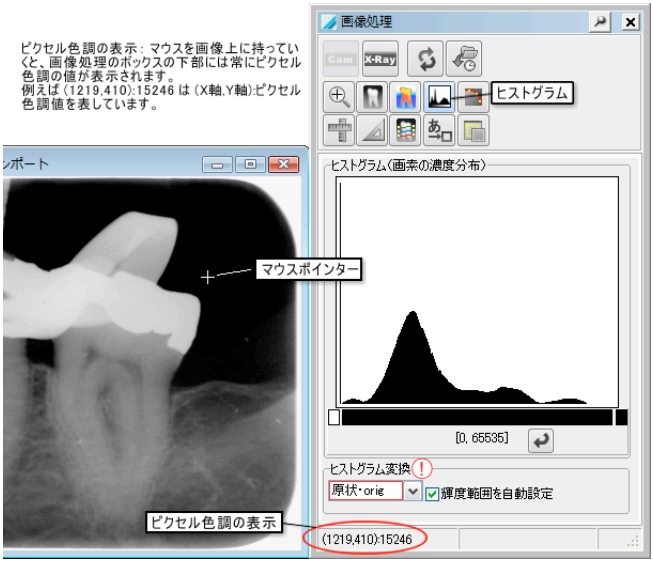


3.8.2 ヒストグラムで撮影設定の確認

DBSWINのシャーカステンで画像を開くと、画像処理のツールで画像の「ヒストグラム」を表示できます。ヒストグラムは画像内の黒～白の間のグレー段階の分布状況を表したもので、照射量とHV値の確認ができます。

画像上にマウスポインターを持って行き、ツールボックス左下に表示される数字を見ながら、一番黒い部分を探してください。黒い部分では数値が高くなります。一番黒い部分の数値が約40000前後になるのが理想です。数値が例えば20000しかない場合は低すぎるので、照射量かHV値を上げて、調整してください。数値が高すぎる場合は逆の措置を取ってください。この設定は、全てのスキャンモードとデンタル、パノラマなど全タイプにおいて行ってください。

値を正確に表示する為、ヒストグラム変換を「原状」にしてください。



3.8.3 スキャンモードパラメータ設定

〇VistaConfigでご使用のデバイスの「スキャンモード設定」タブを開きます:

【ビスタスキャン ミニ】

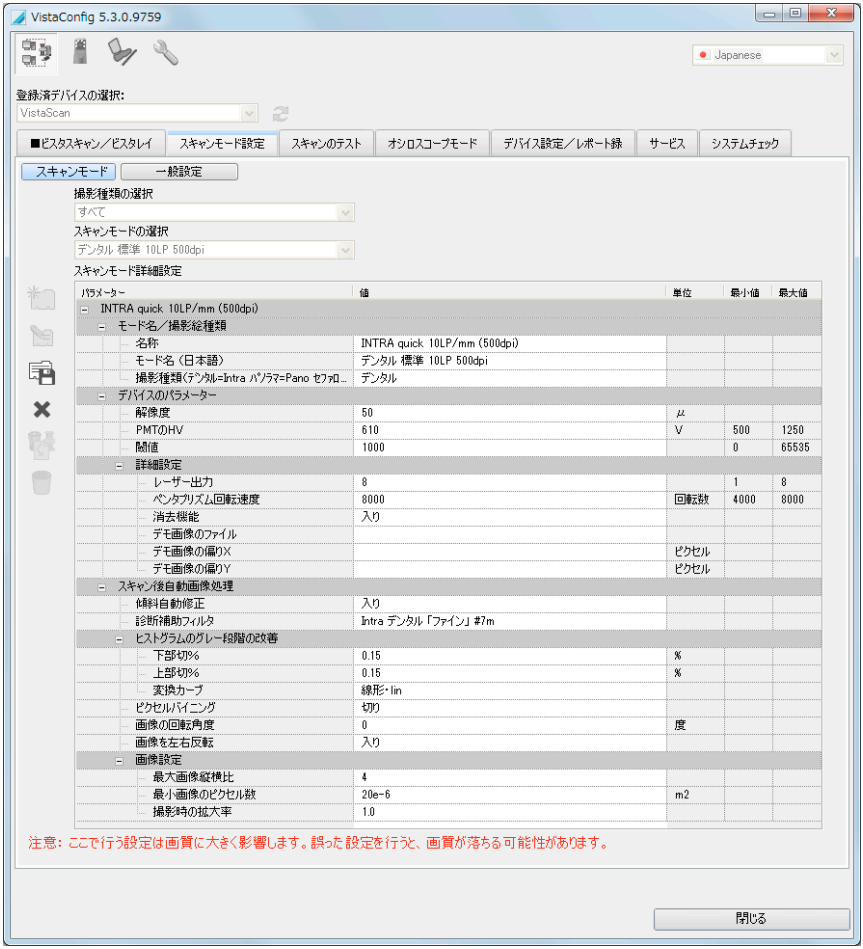
〇「ビスタスキャン／ビスタレイ」のボタンをクリックします。
〇「スキャンモード設定」のタブを選びます。
〇「登録済のデバイスの選択」のリストからVistaScan Miniのデバイスを選びます。
〇撮影種類及び編集するスキャンモードをリストから選択します。

【ビスタスキャン／プラス／ペリオ】

〇「ビスタスキャン／ビスタレイ」のボタンをクリックします。
〇リストからビスタスキャン／プラス／ペリオのデバイスを選びます。
〇「デバイス設定」のボタンをクリックすると設定画面が表示されます。
〇「スキャンモード設定」のタブを選びます。
〇編集するスキャンモードをリストから選択します。

〇右側のボタンでスキャンモードの編集、スキャンモードのコピーと設定変更の保存が行えます。

注意:ビスタスキャンミニの場合、このダイアログでは一部しか設定変更ができません。詳細設定を行うには「一般設定」を選んで、「スキャンモードのエクスポート」ボタンでスキャンモードをファイルとして保存→ファイルを編集→「スキャンモードのインポート」で設定変更をインポートします。



3.8.4 PMTのHV値と閾値の設定

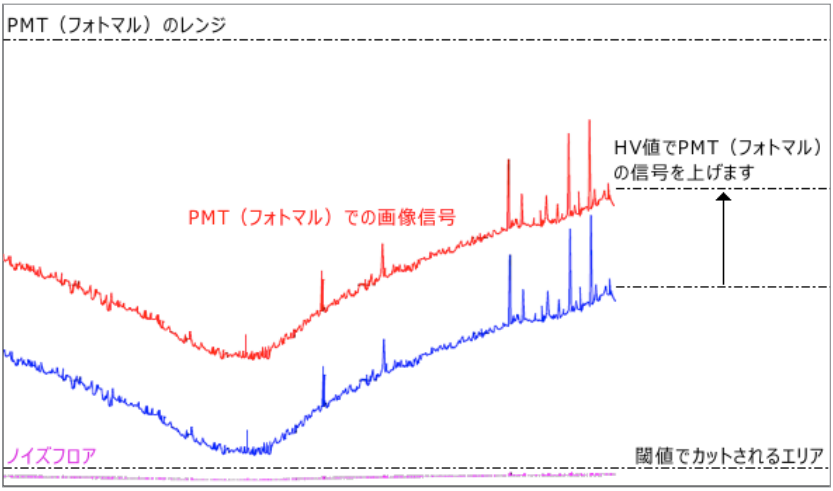
HV値と閾値の設定によって照射量の不足・過剰を補うことができます。編集するスキャンモードを選び、編集ボタンをクリックして設定します。注意：通常、HV値と閾値以外の設定は必要ありません。

HV値でPMT（フォトマル）の信号を上げ、閾値で信号内のノイズフロアをカットします。HV値を上げる場合、同時に閾値も上げなくてはなりません（例：HV値+50→閾値+100）。閾値が低すぎると室内光の影響を受けるため、下げすぎないよう注意してください。

デバイスのパラメーター				
解像度	50	μ		
PMTのHV	610	V	500	1250
閾値	1000		0	65535

【閾値の初期設定】

ビスタスキャンペリオ：800～1000、ビスタスキャンミニ：1000、ビスタスキャン／プラス／イントラ：300～450



3.8.5 スキャン後自動画像処理

毎スキャン後にスキャンモードに前もって設定された「スキャン後の自動処理」が施されます。重要なのは「診断補助フィルタ」と「ヒストグラムのグレー諧調の改善」の「変換カーブ」です。

〇フィルタには画像を鮮明にする「ファイン」を選択することをお勧めします。

スキャン後自動画像処理				
傾斜自動修正	入り			
診断補助フィルタ	Intra デンタル「ファイン」#7m			
ヒストグラムのグレー段階の改善				

〇「ヒストグラムのグレー諧調の改善」の変換カーブは、デバイス機種によって「線形・lin」又は「平方根・sqrt」が初期設定になっています。DBSWINのシャーカステンで、どの設定が最適かをお試しいただき、変更することができます。

上部切%	0.15	%		
変換カーブ	線形・lin			
ピクセルバイニング	切り			

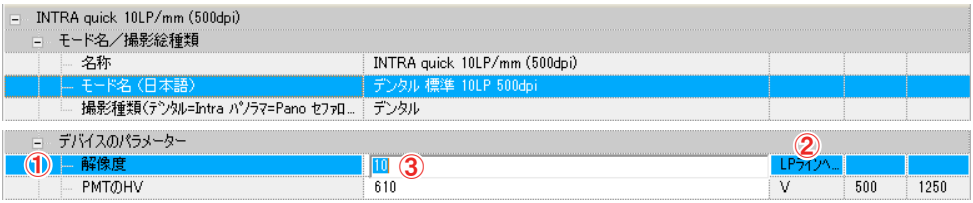
3.8.6 スキャン解像度の設定

〇リストからスキャンモードを選択し、「編集」のボタンをクリックします。

①「デバイスのパラメーター」のノード「+」を開き、解像度の行を選択してください。行が青くなります。

②「単位」列のドロップダウンリストの「ピクセル／μ／LPラインペア／dpi」からご希望の単位を選択します。

③「値」の欄の数字上をダブルクリックすると、解像度の変更ができるようになります。



3.8.7 スキャンモードの新規作成／コピー

新しいスキャンモードを作成するには…

〇「新規作成」のボタンをクリックすると「■新　〇〇〇」のスキャンモードが作成します。

既存スキャンモードの設定を元にして、新しいスキャンモードを追加するには…

〇リストから元にするスキャンモードを選択します。

〇「コピー」のボタンをクリックすると「■複製　＜元のスキャンモード名称＞」のスキャンモードが追加されます。

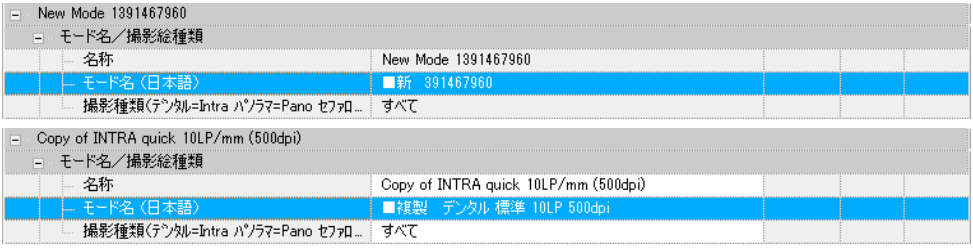
新しいスキャンモードの編集…

〇リストから新しく追加したスキャンモードを選び、「編集」のボタンをクリックします。

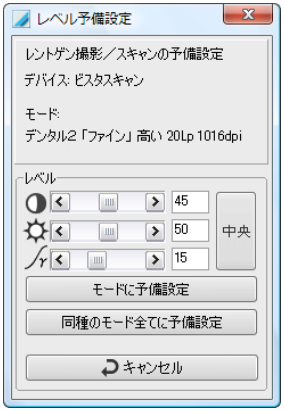
〇スキャンモードのパラメータの設定を行います。

〇スキャンモードの「名称」をローマ字で、「モード名」を日本語で入力してください。

〇「保存」のボタンをクリックすると設定を保存します。



3.8.8 レベル予備設定



スキャンモードごとに明るさ、コントラスト、ガンマ補正レベルの予備設定ができます。画像はスキャン後に自動的にこのレベルになります。

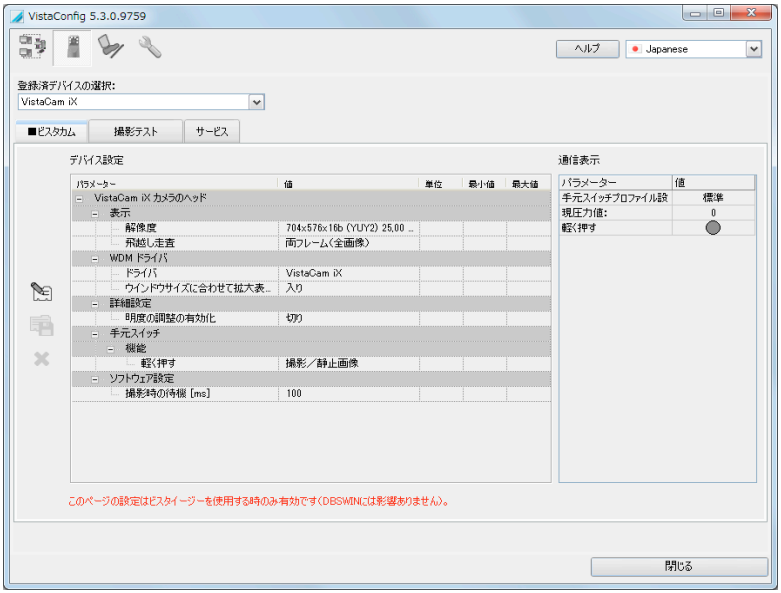
明るさ・コントラストの予備設定の方法：「レントゲン」または「シャーカステン」のメニューで「画像ファイル」→「レベル予備設定」のダイアログを開きます 。明るさ・コントラスト・ガンマ補正のレベルを好みで設定し、スキャンモードに予備設定します。設定には、今回使用したスキャンモードか、同種のスキャンモード（例えば全デンタルのスキャンモード）が保存できます。ガンマ補正は少し抑え気味(12～16)にした方が一般的に良い画像を得ることができます。

ビスタスカムの設定

ビスタスカムの設定は、VistaConfig（ビスタコンフィグ）のソフトウェアで行います。

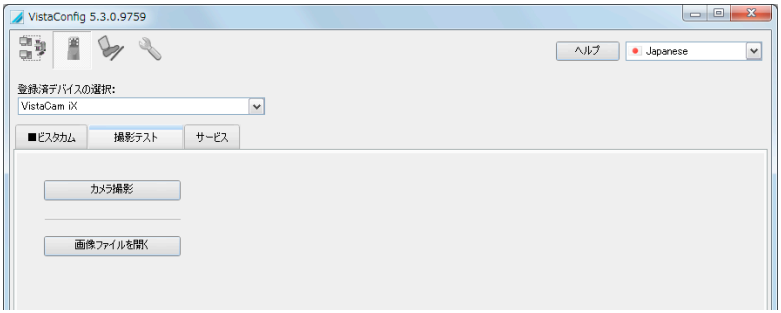
4. デバイス設定

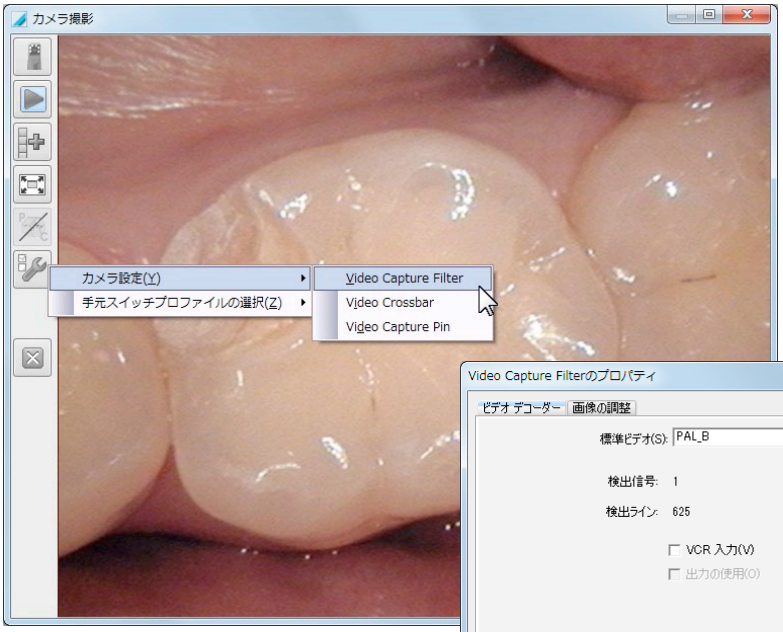
ドロップダウンリストから登録済みのカメラを選択してください。デバイス設定のパラメータが表示されます。必要であればパラメータ設定を変更することができます。

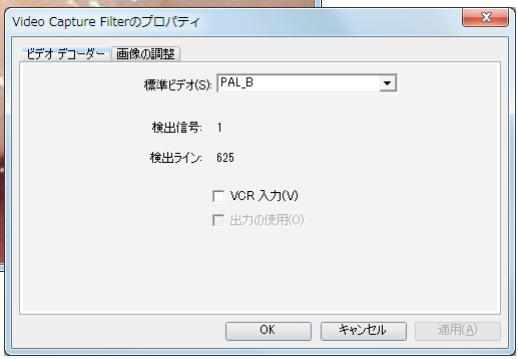


「ウインドウズサイズに合わせて拡大表示」が「入り」になっていると、お使いのパソコン及び内蔵グラフィックボードの種類によっては、静止画像や保存画像が正しく表示されない場合があります。その場合は、設定を「切り」にしてください。

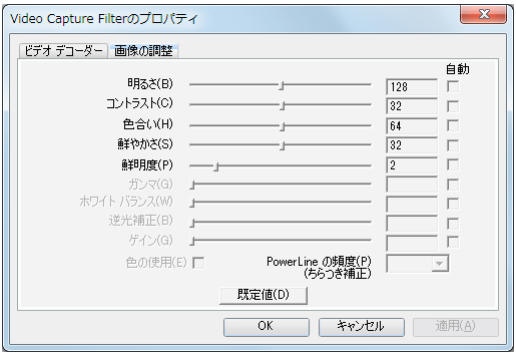
撮影のテストをするには、「撮影テスト」のタブを選び、「カメラ撮影」のボタンをクリックします。

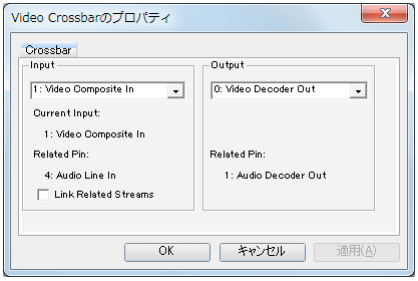


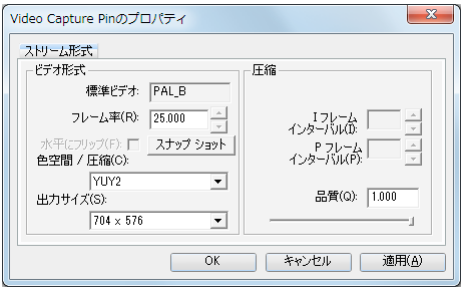




カメラ撮影のダイアログの「設定」ボタンで表示されるメニューから、それぞれのカメラ設定ダイアログを開くことができます。
必要であれば、設定を変更することができます。







フットスイッチの設定

デュールデンタルのフットスイッチを使うと、口腔内カメラの撮影を簡単に行うことができます。

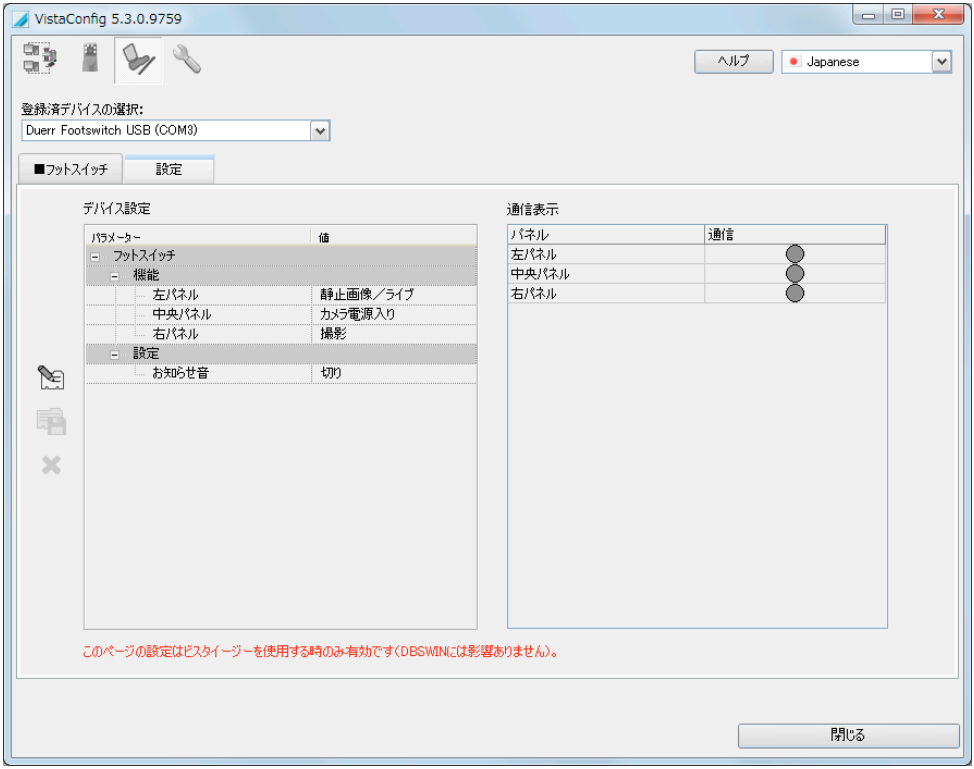
5. デバイス設定

VistaConfig（ビスタコンフィグ）のソフトウェアでフットスイッチの設定を行います。

〇3つのパネルにそれぞれ機能を与えます。

〇撮影時に、お知らせ音を鳴らすかどうかを設定できます。

〇それぞれのパネルの機能をテストすることができます。



ビスタスキャン＆他社製ソフトウエア

6. 他社製ソフトウエアを使用して画像を取り込む

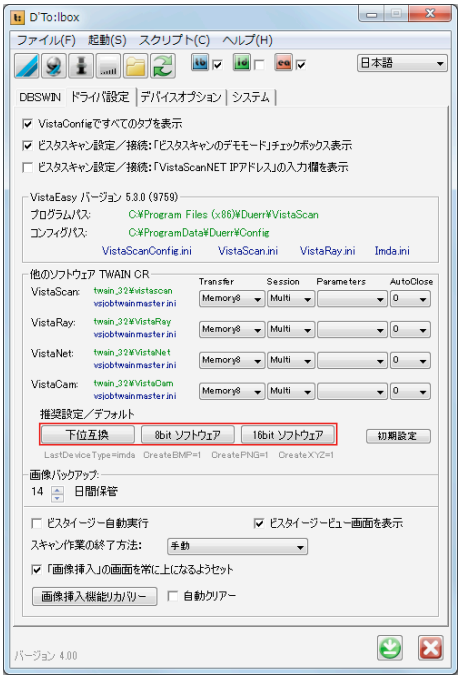
ビスタスキャンシリーズのデバイスでは、他社製ソフトウェアを使って画像挿入を行うこともできます。以下に他社製ソフトウェアの使用について説明します。

お使いの他社製ソフトウェアのバージョンが、ここでご説明する内容通りに機能するかどうかは、弊社では保障し兼ねますのでご了承ください。ご不明な点については、お使いのソフトウェアの製造会社にお問い合わせください。
最良の画質によるより良い診断のためには、弊社オリジナルソフトウェア「DBSWIN」をご使用いただくことをお勧めします。

6.1 D'To:lboxで簡単設定

画像挿入にご使用の他社製ソフトウェアに設定を合わせる必要があります。Dツールボックス（バージョン3.3以上）で設定を簡単に行うことができます。最新バージョンは以下のリンクからダウンロードできます。
http://www.duerr.jp/download2/dl_tb_jp.htm

6.1.1 他社製ソフトウエアをご使用の場合



【Twain/CRとビスタイージーの設定】
左図「ドライバ設定」タブの下部3つのボタンで設定をご使用の他社製ソフトウェアに合わせることができます。各ボタンの機能は以下の通りです。

【下位互換】
旧タイプのソフトウェア用にTwain/CRとビスタイージーの設定を下位互換性にする為、値を変更します。

【8bit ソフトウェア】
8ビット諧調のソフトウェア（コダック社Trophyソフトウェアでの CR読み取り、インスツルメンタリウム社Cliniviewなど）に合わせてTwain/CRとビスタイージーの設定を変更します。

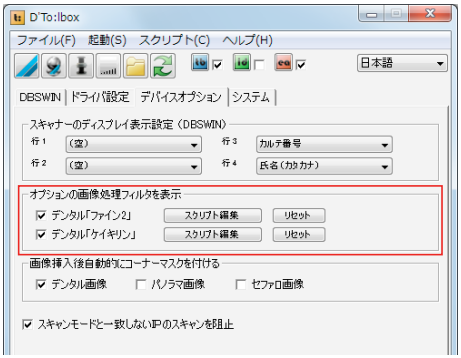
【16bit ソフトウェア】
16ビット諧調のソフトウェアで最高の画質を得るために Twain/CRとビスタイージーの設定を推奨値に変更します。

デバイスを追加又は登録した後でこの設定をもう一度行うことが必要です。

6.1.2 画像挿入機能のリカバリー

「画像挿入機能リカバリー」のボタンで、画像挿入ダイアログが表示されない場合や画像挿入ができない場合に、画像挿入機能のリカバリー操作を行います。
機能をリカバリーするために画像の一時ファイルを削除し、VistaScanConfig.exeのプロセスを終了します。スキャン作業中は、この操作をしないでください。操作する前に、画像の一時ファイルが入っている以下のフォルダから画像をインポートしてみてください。

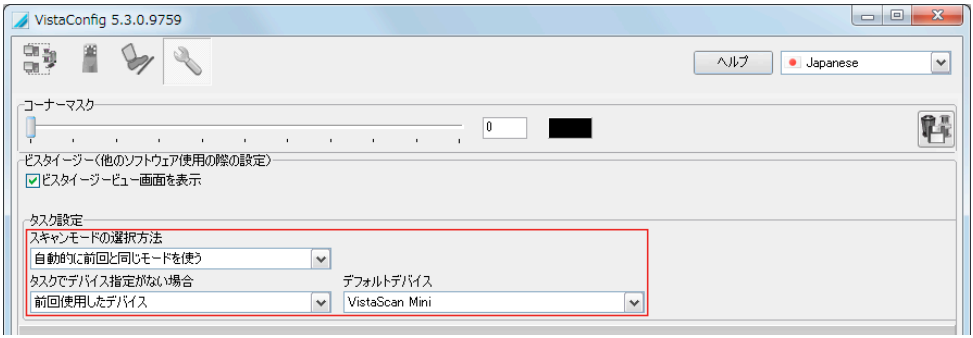
6.1.3 オプションの画像処理フィルタ



左図「デバイスオプション」タブの「オプションの画像処理フィルタを表示」でチェックが入っているフィルタがソフトウェアでボタンが追加され、スキャンモードでも使用できるようになります。このフィルタは16ビットと8ビットでの画像読み取りにも使用できます。

6.2 タスク設定

他社製ソフトウェアを画像挿入にご使用になる場合、以下のタスク設定をお勧めします：
○スキャンモードの選択方法→自動的に前回と同じモードを使う
○タスクでデバイス指定がない場合→常にデフォルトデバイスを使用
○デフォルトデバイス→ご使用のデバイスを選択してください



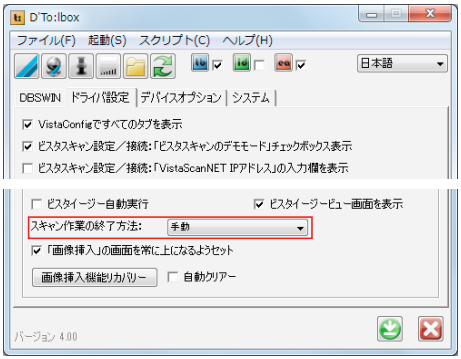
6.3 ビスタイージー自動起動

他社製ソフトウェアを使う場合、ビスタイージー（通知領域）を先にスタートすると、最初のスキャン作業のダイアログが早く表示されます。ただし、一度スキャン作業を行うとビスタイージーはそのまま起動中になります。ビスタイージーを自動起動するには、ウインドウズのスタートアップにショートカットを追加してください。

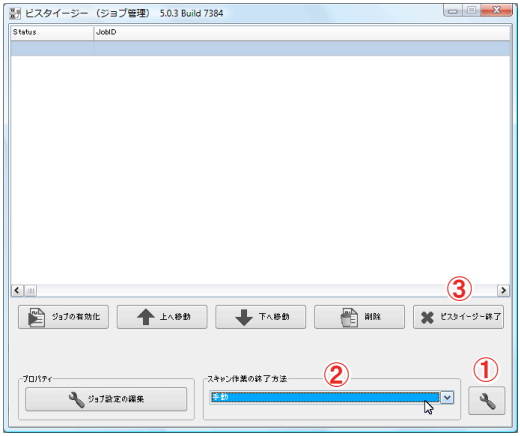
ご使用の他社製ソフトウェアによっては、ビスタイージーが起動中には画像挿入ができないことがあります。この場合、ビスタイージーを起動しないでください。
画像が他社製ソフトウェアに転送できない場合は、通知領域に入っているビスタイージーを閉じてください。
VistaConfigを起動してスキャン設定を変更する場合は、まずビスタイージーの通知領域のアイコンをクリックして閉じることが必要です。

6.4 スキャン作業の終了方法

ご使用の他社製ソフトウェアによっては、画像挿入が1枚ずつしかできない場合があります（Trophy 6.11／6.12）。複数の画像挿入ができるようにするためには、Dツールボックス又はビスタイージーで以下のように設定を行ってください。



○Dツールボックスの「ドライバ設定」タブで「スキャン作業の終了方法」を「手動」にしてください。



○ビスタイージーを起動します。
○通知領域にあるビスタイージーのアイコンをダブルクリックして、ビスタイージーのウインドウを表示します。
①右下の「レンチ」シンボルのボタンをクリックしてください。
②「スキャン作業の終了方法」で「手動」を選択してください。
③右下の「×ビスタイージー終了」のボタンでビスタイージーを閉じてください。

6.5 VistaScanConfig.ini設定

他社製ソフトウェアをご使用の場合、VistaScanConfig.iniファイルの設定が必要な場合があります。

[VSESettings]

LastDeviceType=vscan vscan, imda, vray（ビスタスキャン/プラス/ペリオ ⇒ vscan／ミニ ⇒ imda）

LastDeviceTypeのパラメーターが前回画像挿入を開始した機器によって自動的に変わります。設定を変更するには、スキャナーを接続して、VistaConfigで「スキャンのテスト」を行って機種を登録する必要があります！

CreatePNG=0 CreatePNG=0 （16ビットPNG画像の作成を防ぎ、コダック社のTrophyソフトウェアーの不具合を回避します)この設定はDツールボックスの「ドライバ設定」タブの「推奨設定／デフォルト」ボタンで設定できます。

6.6 TWAIN設定

ご使用の他社製ソフトウェアによっては、vsjobtwainmaster.iniファイルの編集、設定が必要です。

Twainの設定は、Dツールボックスの「ドライバ設定」タブで簡単に行うことができますが、ここで内容を詳しくご説明します。「6.1 D'To:lboxで簡単設定」をお読みになり、設定を行ってください。

ファイルの場所：

VistaScanMini→ ＜Windowsフォルダ＞¥twain_32¥VistaNet¥＜デバイス番号＞¥vsjobtwainmaster.ini
VistaScan Plus/Perio→ ＜Windowsフォルダ＞¥twain_32¥vistascan¥vsjobtwainmaster.ini

[Parameter] 入力 説明

Scanmode=-2 ご使用になりたいスキャンモードによって設定してください。
-1 スキャンダイアログで毎回ユーザーがスキャンモードを選択します
-2 スキャンダイアログで前回使用したモードを自動的に選択します
数字 スキャンダイアログでスキャンモードが自動的にご希望のスキャンモードになります。ここで入力する数字が、スキャンモードのリストの上から何番かを表します。

JobName=TWAIN-VistaScan

AutoClose=0 0 ユーザーがスキャンのダイアログを閉じます（推奨）
1 自動的にスキャンを終了します（一枚の画像をスキャン後終了）

DeviceName=VistaScan

DeviceType=VScan VScan ビスタスキャンのデバイスを使用します
Imda ビスタスキャンミニのデバイスを使用します

[TWAIN]

Transfer=MEMORY8 ご使用のソフトウェアに合わせてTWAINの転送モードを設定しなければなりません！どれが正しいかわからない場合は、以下の全てをお試しください。
MEMORY8 TwainのMEMORYモードで8ビット画像の転送
MEMORY16 TwainのMEMORYモードで16ビット画像の転送（推奨）
NATIVE TwainのNATIVEモードで8ビット画像の転送

Session=Multi ご使用のソフトウェアに合わせてTWAINの作業モードを設定しなければなりません！
どれが正しいかわからない場合は、以下の全てをお試しください。
Single 初めの1枚だけ転送します
Multi 複数画像を転送します（推奨）

ImagePrefix=vs vs, vr, vi, vv ファイル名の接頭語

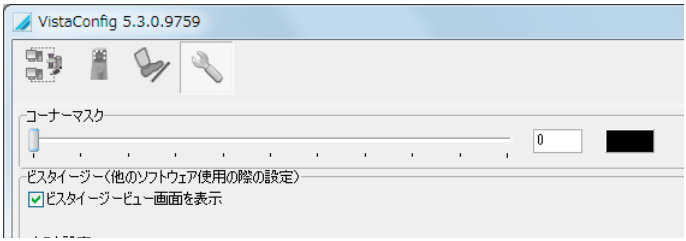
Parameters=/SuppressSplash /CloseOnCloseScan ご使用のソフトウェアによっては、設定が必要な場合があります。
/SuppressSplash 起動時のスタート画面を非表示
/CloseOnCloseScan VistaScanConfig.exeが終了するまで他社製ソフトウエアがスキャン画像を受け取れない場合はこの設定を使います

6.7 ビスタイージービュー

ビスタイージービューを使うと、ビスタスキャンの撮影画像が他社製ソフトウェアへ転送される前に濃淡を変更したりフィルタをかけるなどの処理を行うことができます。

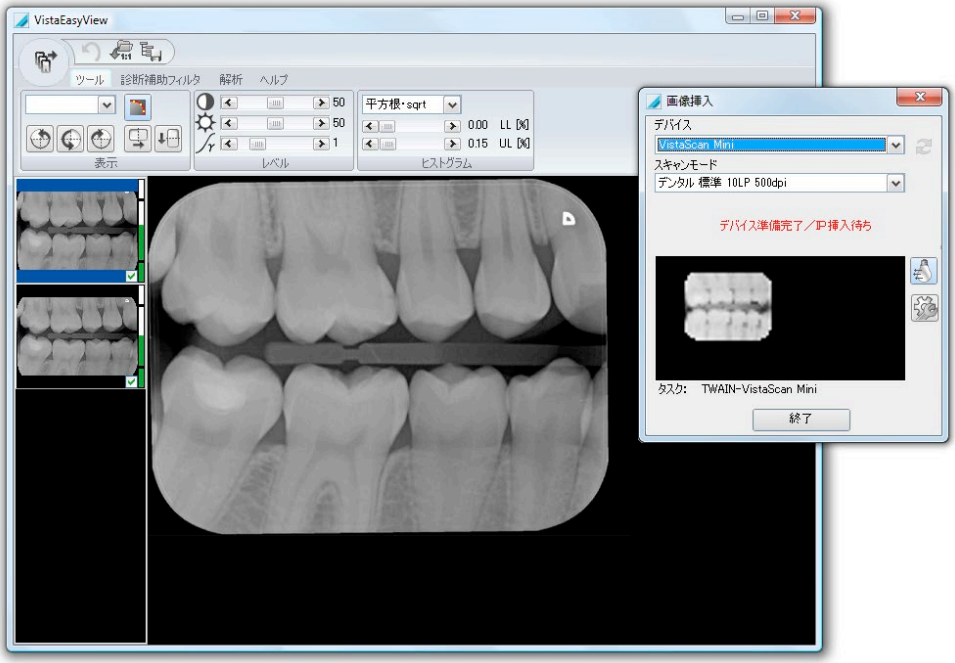
6.7.1 ビスタイージービューを表示するための設定

VistaConfigで以下のようにチェックを入れるとTWAINスキャン又はDLLリンクのスキャンの場合にビスタイージービューが表示されます。



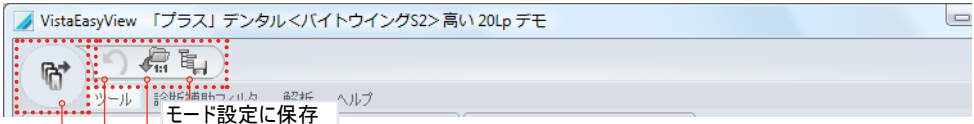
6.7.2 画像挿入

他社製ソフトウエアで画像挿入を開始すると「画像挿入」の画面が表示されます。スキャンした画像はすぐに他社製ソフトウエアには転送されず、まず「VistaEasyView」の画面に表示されます。全ての画像のスキャンが終わったら、「スキャン終了」のボタンで「画像挿入」の画面を閉じてください。「VistaEasyView」の画面で撮影画像を確認し、必要に応じ画像処理を行ってから他社製ソフトウェアへ転送します（以下の説明をお読みください）。



6.7.3 ビスタイージービューでの画像処理

ビスタイージービューで画像処理を施してから、「チェックした画像を全て転送します」のボタンをクリックして、他社製ソフトウェアへ画像を転送します。



モード設定に保存

原画像に戻す

元に戻す

チェックした画像を転送し、
ビスタイージービューを閉じます

行われた画像処理は、他社製ソフトウェアに転送後は、元に戻すことができないため、 転送前に画像を１枚ずつ確認してください。万が一問題が起きた場合は、画像修復の機能を使って他社製ソフトウェアに転送し直してください。「10.1 画像修復」をご参照ください。

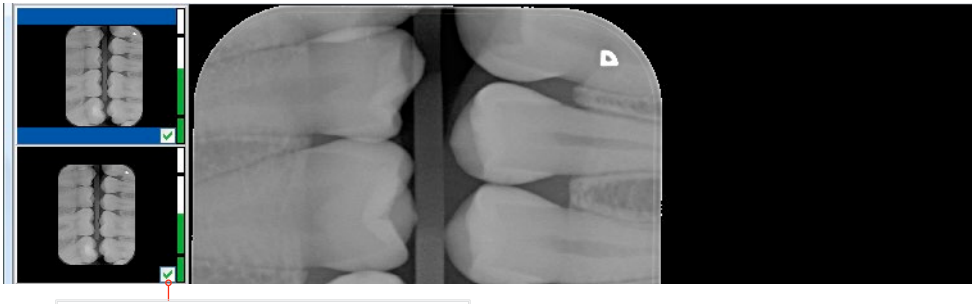
ここでモード設定を変更して保存すると、次回の画像挿入時から有効となります。

拡大設定
コーナーマスク入り／切り
回転｜反転

コントラスト
明るさ
ガンマ補正

ヒストグラム輝度
下部切%
上部切%

診断補助フィルタ



転送チェック：
画像をまだ転送しない場合、チェックを外す

【コーナーマスク】

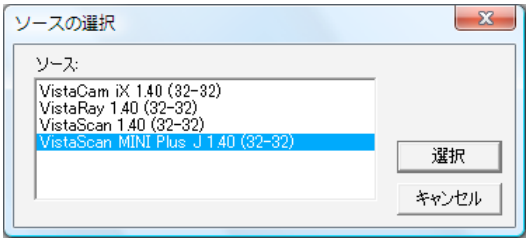
コーナーマスク機能で画像の角と周辺にある白い枠部分が背景の色になります。これは、白い部分を隠すことでまぶしくなるのを防ぎ、レントゲン画像の診断がし易いようにするための機能です。自動計算・決定が適切でない場合は、コーナーマスクのボタンで機能をOFFにしてください。

6.8 TWAINインターフェイス使用

TWAINインターフェイスで画像挿入が機能するためにTWAINを正しく設定し、他社製ソフトウェアに合わせることが重要です。「6.6 TWAIN設定」をお読みになり、設定を行ってください。

6.8.1 TWAINソースの選択

他社製ソフトウエアのメニューでTWAINソースを選択する項目を選ぶと、ソースの選択ダイアログが表示されます。該当する機器を選ぶと画像挿入ができるようになります。



ビスタカム iX ⇒ VistaCam iX
ビスタスキャン/プラス/ペリオ ⇒ VistaScan
ビスタスキャン ミニ ⇒ VistaScan MINI Plus

6.8.2 TWAINで画像挿入

他社製ソフトウエアのメニューの中からTWAINで画像挿入を行う項目を選ぶと、「画像挿入」画面が表示されます。

○スキャンモードを選択し、IPを機器に挿入してください。機器の使用説明書に従って作業を行ってください。
○全てのIPをスキャンし終わったら、画像挿入のダイアログを閉じてください。ビスタイージービューをご使用になっている場合は、他社製のソフトウェアに送信する前にビスタイージービューで画像の確認と画像処理ができます。最後に左上のボタンを押して画像を送信し、ビスタイージービューを閉じます。

6.9 各他社製ソフトウエアについて

6.9.1 コダック社Trophy

トロフィー・ソフトウェアは、CRボタン又はTWAINインターフェイスで画像挿入を交互に行うと、エラーが発生する可能性がありますので、どちらか一つだけを使用するようにしてください。TWAINのボタンはCRボタンのすぐに右側にありますので、押し間違えないようご注意ください。
CRボタンでの画像挿入では画質が８ビット（256階調）になってしまうため、TWAINを使用するか画像をインポートする方法をお勧めします。

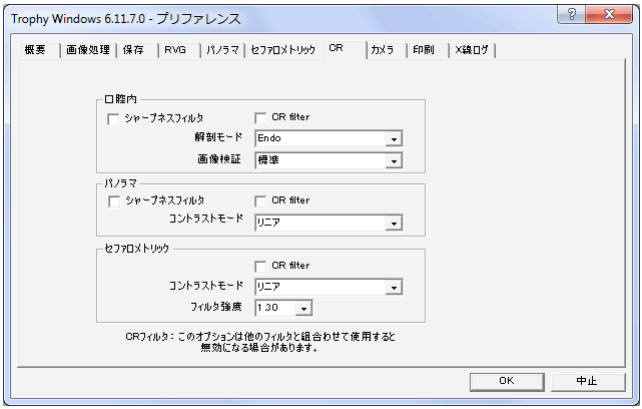
コダック社の「Trophy」ソフトウエアを使用するための設定は、Dツールボックス（１章参照）で行うことをお勧めします。オプションの画像処理フィルタ「ファイン2」又は「ケイキリン」を使うと、8ビットでも良質な画像を得ることができます。

【TWAIN 画像挿入】Trophyバージョン6以上は16ビット画像が可能
「「コーナーマスク」の章をお読みになり、設定を行ってください。特にvsjobtwainmaster.iniファイルのTransfer=MEMORY16（65.535階調）かMEMORY8（256階調）の設定が重要です。

【CR 画像挿入】8ビット画像のみ
「6.6 TWAIN設定」から「1.4 VistaScanConfig.ini設定」の章を全てお読みになり、設定を行ってください。特にVistaScanConfig.ini設定のCreatePNG=0の設定が重要です。

トロフィー・ソフトウェアのCR読み取りは、８ビットの画像にしか対応していません。トロフィー・ソフトウェアをご使用になる場合は、画質を１６ビットから８ビット（65.535→256階調）に落とす必要があります。

トロフィー・ソフトウェアでは、以下のように「シャープネスフィルタ」と「CR filter」のチェックを外してください。画像処理フィルタを無効にすることで画像の荒れがなくなります。



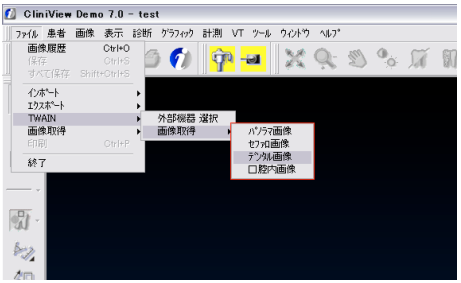
CRインターフェイスは以下のようにお使いください。
〇ビスタスキャンの画像挿入を始めるには「CR」のボタンを押してください。
〇「画像挿入」プレビュー画面が表示されたら、スキャンモードを選択します。
〇画像をスキャンします。
〇ビスタイージービューが有効の場合、スキャン画像が「VistaEasyView」の画面で表示されます。詳細は「6.7 ビスタイージービュー」をご覧ください。画像の回転、反転、濃淡の変更などを行ってから左上の「チェックした画像を転送」のボタンをクリックすると、画像がトロフィに転送されます。
〇全ての画像スキャンが終了したら、「終了」のボタンをクリックしてください。

6.9.2 インスツルメンタリウム社Cliniview

インスツルメンタリウム社の「Cliniview」ソフトウエアを使用するための設定は、Dツールボックス（1章参照）で行うことをお勧めします。

【TWAIN 画像挿入】

「コーナーマスク」の章をお読みになり、設定を行ってください。



○ メニューの「ファイル」→「TWAIN」→「画像取得」→画像種類（パノラマ、セファロ、デンタル）を選択します。

○ 「画像挿入」の画面が表示されたら、スキャンモードを選択します（スキャンモードを予備設定済みの場合不要）。

○ 画像をスキャンします。

○ 全ての画像スキャンが終了したら、「スキャン終了」のボタンをクリックして、画面を閉じます。

○ ビスタイージービューが有効の場合、スキャン画像が「VistaEasyView」の画面で表示されます。詳細は「6.7 ビスタイージービュー」をご覧ください。画像の回転、反転、濃淡の変更などを行い、画像処理が終了後「チェックした画像を全て転送します」ボタンをクリックすると画像がCliniviewに転送されます。

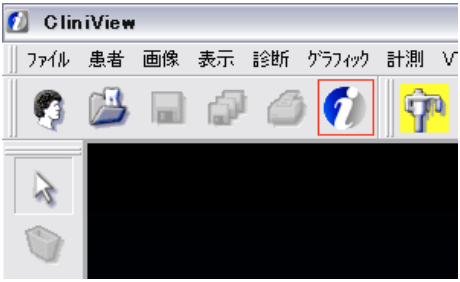
【デンタル画像のみスキャンする場合のボタン設定】

デンタル画像だけをスキャンする時、以下のようにボタン設定を行うと、ワンクリックでスキャンを開始できます。

○ メニューの「ツール」→「設定」で「ｉ」マークのボタンを設定できます。

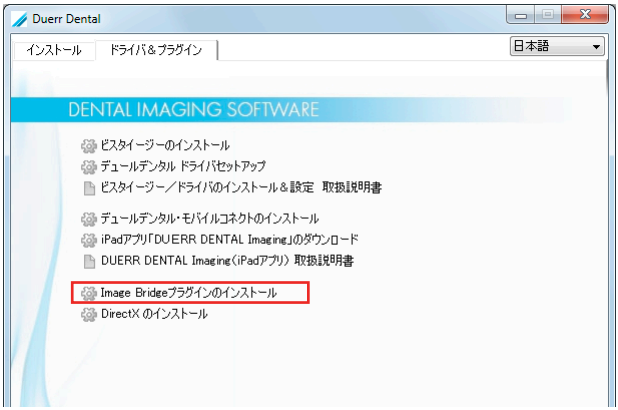
○ 「起動ボタン表示」にチェック

○ 「起動ファイル」欄に C:¥Program Files¥D'Toolbox¥special¥cliniview_twain_intra.exe を入力してください。



6.9.3 シロナ社 Sidexis／ジェンデックス社 VixWin

Image Bridgeプラグインをインストールすると直接画像挿入を行うことができます。



ビスタスカム＆他社製ソフトウエア

7. 他社製ソフトウエアを使用して撮影

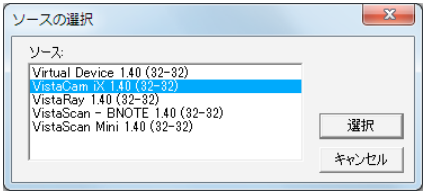
ビスタカムのデバイスでは、他社製ソフトウェアを使って画像挿入を行うこともできます。

7.1 TWAINインターフェイス使用

TWAINインターフェイスで画像挿入が機能するためにTWAINを正しく設定し、他社製ソフトウェアに合わせることが重要です。「6.6 TWAIN設定」をお読みになり、設定を行ってください。

7.1.1 TWAINソースの選択

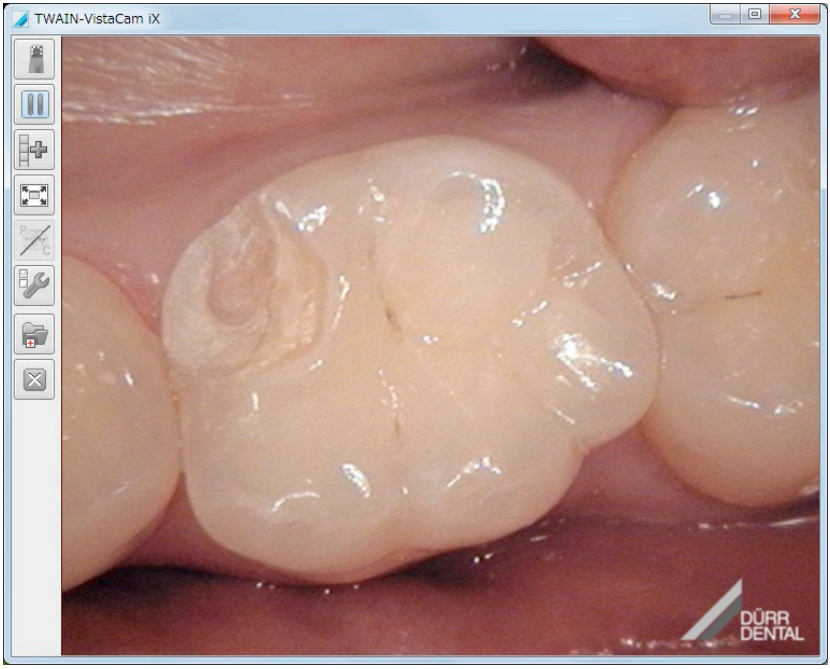
他社製ソフトウエアのメニューでTWAINソースを選択する項目を選ぶと、ソースの選択ダイアログが表示されます。該当する機器を選ぶと画像挿入ができるようになります。



ビスタカム iX ⇒ VistaCam iX

7.1.2 TWAINで画像挿入

他社製ソフトウエアのメニューの中からTWAINで画像挿入を行う項目を選ぶと、カメラ撮影の画面が表示されます。

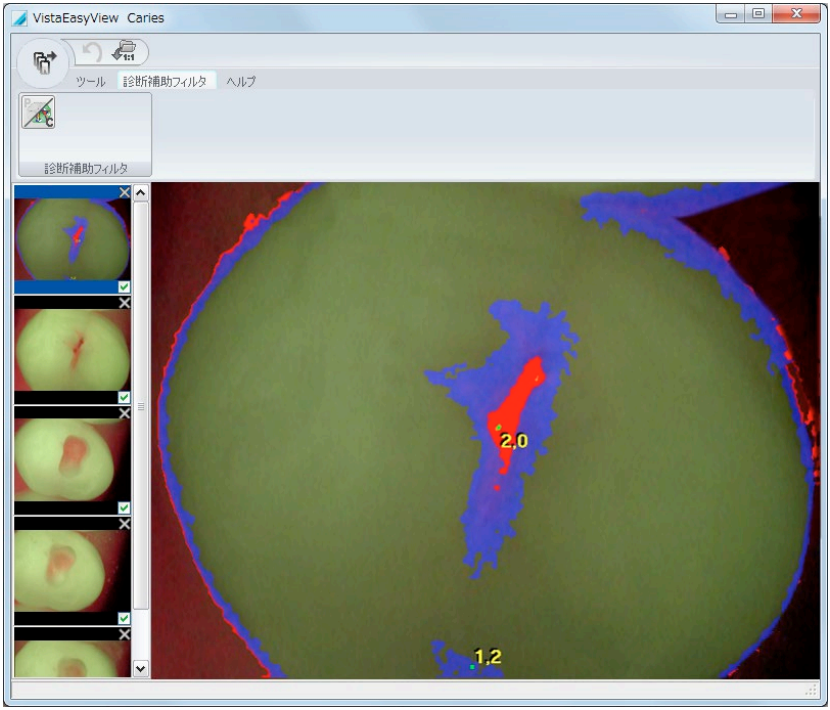


〇カメラで撮影を行うには、カメラハンドセットの手元スイッチを押す、フットスイッチのパネルを踏む、又はマウスで撮影のボタンをクリックします。

〇カメラの撮影を終了するには、カメラ撮影ダイアログを閉じてください。

〇ビスタイージービューをご使用になっている場合は、他社製のソフトウェアに送信する前にビスタイージービューで画像の確認と画像処理ができます。最後に左上のボタンを押して画像を送信し、ビスタイージービューを閉じます。詳細は「6.7 ビスタイージービュー」をご覧ください。

〇ビスタイージービューを使用していない場合は、撮影時に画像が直接他社製ソフトウェアに送信されます。



ビスタカムのドライバソフトウェアが、撮影時自動的に画像のバックアップを取ります。他社製ソフトウェアを使用して問題が起きた場合、画像修復機能で画像ファイルをバックアップのフォルダから開き、他社製ソフトウェアに再転送することができます。

画像挿入を他社製ソフトウェアで行う際、カメラ撮影画面で、「画像修復」のボタンをクリックします。表示された「画像修復」のダイアログに従って以前撮影した画像を再度他社製ソフトウェアに転送することができます。

トラブルシューティング

一般的なトラブルシューティングは製品の使用説明書に記載されています。まず、そちらをお読みになり、ご理解いただいた上で、適正な設置及びご使用をされることをお願いいたします。ここには、取扱説明書に記載されていないトラブルシューティングに関する追加情報と最新情報を記載しています。

撮影や画像に問題が発生し、画像を弊社にご送付いただく場合は、必ずオリジナルフォーマットの原画像（.xtf,.vtf と付属の.imoなどのファイル）のみをお送りください。携帯電話で撮影した画像や８ビットjpegファイルなどでは分析ができませんので、ご了承ください。オリジナルフォーマットの原画像をDBSWINの「画像のエクスポート」ダイアログ内のプリセットで「サービス／サポート」か、又は画像フォーマットでDBSWIN (VTF)／(XTF)を選択して、画像をエクスポートしてください。他社製のソフトウェアを使う場合は、画像ファイルを「...Duerr¥imageBacklog」のフォルダから取り出してご送付ください。

8. ビスタスキャンの全モデル共通

8.1 問題のあるスキャン画像

問題の解決には以下の点に注意してください。

1. パノラマやセファロののソフトカセット、あるいはデンタルのカセットは、読み取りが完全に終わり、全てのLEDランプが緑色に変わるまで取り外さないように徹底してください。

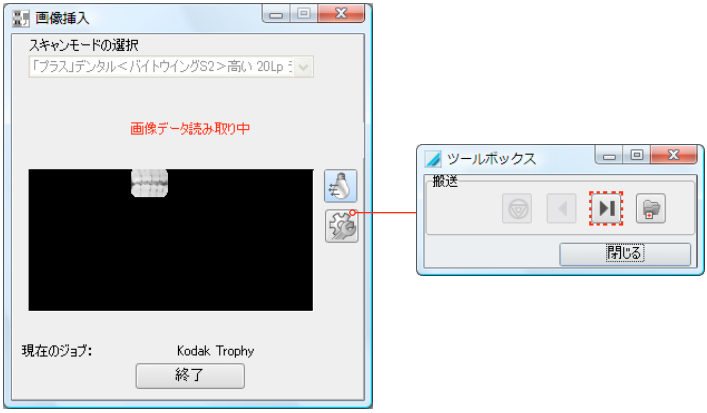
2. パノラマやセファロのソフトカセットの故障（スポンジの消耗）の場合は取り替えてください。

3. DBSWINとドライバの更新チェックを行ってください。最新バージョンにアップデートしてください。バージョンの情報はデュールデンタルのHP： www.duerr.jp から入手できます。

4. 3年毎に搬送部分を取り外し、内部を清掃してください。レーザーが出てくる溝部分は掃除機で吸い取ります。搬送バンドと遮光ブラシも同時期に必要に応じて交換してください。使用頻度や設置環境の汚染状況（埃の多さ）によって、以上の作業を行う時期を早めてください。より詳しい対処に関してはビスタスキャン取扱説明書のトラブルシューティングをお読みください。

8.2 IPやプレートガイドが詰まって出てこない

IPやプレートガイドが本体内部に詰まってしまった場合は、画像挿入プレビュー画面内「ツールボックス」のボタンをクリックします。次にツールボックス内のボタンをクリックし、詰まっているIPやプレートガイドが出るか試してください。



8.3 臼歯部画像のスキャン後の自動回転

スキャンした臼歯部画像の自動回転を変更するには LDBS.INI ファイルを編集してください。

LDBS.ini ファイルのパスは ..¥DBSWIN¥bin のフォルダです。(例 : C:¥Program Files¥Duerr¥Dbswin¥bin)
[VScanXrayPreprocessing] ...
;Enable automatic rotation: specify tooth area and rotation
RotationDef=4-8,90;13-17,90;19-21,90;22-26,270;28-30,90;31-35,270;

RotationDefの前に ; (セミコロン)を記入すると自動回転の機能がすべてオフになります。
自動回転の変更／パラメータの説明:
RotationDef=オブジェクト番号〇～〇, 回転角度;(例 : 4-8,90;)
オブジェクト番号は以下のように歯番号と対応しています : オブジェクト番号＝歯番号
1=11 2=12 3=13 4=14 5=15 6=16 7=17 8=18 10=21 11=22 12=23 13=24
14=25 15=26 16=27 17=28 19=31 20=32 21=33 22=34 23=35 24=36 25=37
26=38 28=41 29=42 30=43 31=44 32=45 33=46 34=47 35=48 37=51 38=52
39=53 40=54 41=55 42=61 43=62 44=63 45=64 46=65 47=71 48=72 49=73
50=74 51=75 52=81 53=82 54=83 55=84 56=85

8.4 エラーメッセージのリスト

リストの中には「詳細」が空欄になっているものがありますが、それらのメッセージは通常表示されないか、又は専門家のみが理解できる内容となっています。全項目を網羅するためにあえてそれらのメッセージも省略せずに記載してありますが、ご了承ください。

番号	エラーメッセージ		詳細
E1	ERR_FILE_NOT_FOUND	File not found	ファイルが無効又は見つかりません。デバイスへ接続ができません。
E2	ERR_PARAM	Parameter not found or parameter checking failed	パラメーターが見つかりません又は設定無効です。
E3	ERR_INIT_FAIL	Error while writing the configuration data	スキャナーの電源が入っているか、接続されているか確認してください（接続ポート設定ミス？）。
E4	ERR_DEVICE_NOT_OPEN	Device or file was not opened for access	デバイス又はファイルにアクセスできませんでした。パソコンを再起動してみてください。
E5	ERR_INVALID_CTRL_CODE	Ctrl code is not valid	
E6	ERR_IS_ACTIVE	Activate is called without a deactivate beforehand	
E7	ERR_IS_OPEN	Scanner is already open	デバイスが使用中です。後ほど再試行してください。
E8	ERR_MEMORY	No memory could be allocated	メモリのアロケーションエラー：必要のメモリが足りません。
E9	ERR_DEV_TYPE	WrongType of Scanner	接続されているデバイスの機種は使用できません。
E10	ERR_DEV_TYPE_CHANGE	Change VistaScan / PerioScan detected	接続されているデバイスの機種が変更になったため、ソフトウェアを再起動してください。
E11	ERR_FAIL	general Error	作業の失敗（詳細不明）。
E12	ERR_DLL	dll or function in dll is missing	ソフトウェアの一部がロードできませんでした。ソフトウェアを再インストールしてください。
E13	ERR_STUB	function / method implementation missing – stub only	デバイスの機種にこの機能が対応していません。
E14	ERR_INVALID_CALL	″function parameter check failed, e.g. invalid pointer″	
E15	ERR_INVALID_CALL	″operation failed because of invalid parameters″	
E16	ERR_WRITE	″file io error, e.g. locked or write failed″	ファイルに書き込みができませんでした。ファイルアクセス権利を確認してください。
E17	ERR_DOESNT_EXIST	scanner or location doesn't exist	ファイル又はパスが存在しません。
E18	ERR_EXISTS	scanner or location already exist	ファイル又はパスもすでに存在します。
E19	ERR_NOT_EMPTY	dir is not empty: device exists in location to be removed	保存先フォルダにファイルが存在します。
E20	ERR_VALUE_NOT_IN_RANGE	initialisation parameter not in valid range	パラメーター設定が無効です。
E21	ERR_MISSING_CAPABILITIES	Addressed device lacks some features	デバイスの機種に全ての機能が対応していない可能性があります。

番号	エラーメッセージ		詳細
E22	ERR_BUSY	device or function busy	デバイスが使用中のため、後ほどもう一度お試しください。
E23	ERR_DLL_INIT_FAILED	library or dll init failed – component missing / setting or file not found	ソフトウェアの一部がロードできませんでした。ソフトウェアを再インストールしてください。
E24	ERR_VERSION	version of (sub-)component does not match the required version	ソフトウェアの一部がロードできませんでした。ソフトウェアを再インストールしてください。
E50	ERR_INVALID_IMAGE	Image struct contains inconsistent data or doesn't exist in memory	画像又はデータが無効です。
E61	ERR_NO_INI_SECTION_OR_KEY	neither Section nor Key exist	
E62	ERR_NO_INI_SECTION	Section does not exist	
E63	ERR_NO_INI_KEY	Key does not exist	
E70	ERR_ADMIN_REGISTRY	Registry settings for the administration module can't be manipulated	
E71	ERR_INVALID_ID	no or invalid device or product id	
E72	ERR_UNKNOWN_TYPE	type specified is not set up via configuration	
E73	ERR_REGISTRY_ENTRY	entry not found	
E74	ERR_NO_TEMPLATE	template for ini not found	
E75	ERR_NO_ENV_VARIABLE	environment variable doesn't exist	
E76	ERR_TYPE_OUT_OF_RANGE	type specified is not within range of the configured types	
E77	ERR_CONFIG	configuration file not found or has fatal misconfiguration	
E100	ERR_DEV_MEM	No buffer RAM found	デバイス機種選択が間違っています（バッファメモリが見つかりません）。
E101	ERR_DEV_MEM_TYPE	Buffer RAM is not 64 bit SDRAM	バッファーメモリーが64ビットのSDRAMになっていません。
E101	E_NOCCDSN	No serial received from CCDs	
E102	ERR_PARAM_RANGE	Configuration parameter outside of its range of values	パラメーターが設定範囲外です。
E110	E_ini_CorFilePath	Wrong CorFilePath in ini-file	
E110	E_ini_ImagePath	Wrong ImagePath in ini-file	
E112	E_ini_IntTime	Wrong IntTime in ini-file	
E113	E_ini_Pruefplatz	Wrong Pruefplatz in ini-file	
E114	E_ini_RefDoseL	Wrong RefDoseL in ini-file	
E115	E_ini_RefDoseH	Wrong RefDoseH in ini-file	
E116	E_ini_LeftThresh_Mean_Low	Wrong LeftThresh_Mean_Low in ini-file	

番号	エラーメッセージ		詳細
E117	E_ini_RightThresh_Mean_Low	Wrong RightThresh_Mean_Low in ini-file	
E118	E_ini_LeftThresh_Mean_High	Wrong LeftThresh_Mean_High in ini-file	
E119	E_ini_RightThresh_Mean_High	Wrong RightThresh_Mean_High in ini-file	
E120	E_ini_LeftThresh_SN_Low	Wrong LeftThresh_SN_Low in ini-file	
E121	E_ini_LeftThresh_SN_High	Wrong LeftThresh_SN_High in ini-file	
E130	E_WRITE_HOM_IMAGE	Cannot save homogeneous image	
E131	E_WRITE_CORFILE	Cannot save Corfile	
E140	E_NO_CORFILE	Corfile not found	付属のCD/DVDから修正データをインストールしてください。
E141	E_UNKNOWN_CORVERSION	Unknown CorVersion	付属のCD/DVDから修正データをインストールしてください。
E142	E_READ_CORFILE	Error when reading Corfile	付属のCD/DVDから修正データをインストールしてください。
E200	ERR_IO_CRC	Checksum error while transferring data	チェックサムが無効です
E300	VSU_STATUS_ERROR		
E301	VSU_STATUS_INVALID_PARAMETER		
E302	VSU_STATUS_INVALID_HANDLE		
E303	VSU_STATUS_ALREADY_INITIALIZED		
E304	VSU_STATUS_NOT_INITIALIZED		
E305	VSU_STATUS_NO_DEVICES		デバイスがありません。
E306	VSU_STATUS_NO_DATA		
E307	VSU_STATUS_IN_USE		
E308	VSU_STATUS_DEVICE_NOT_PRESENT		
E309	VSU_STATUS_TIMEOUT		
E310	VSU_STATUS_TRANSFER_ERROR		
E311	VSU_STATUS_REJECTED		
E312	VSU_STATUS_VERSION_MISMATCH		
E313	VSU_STATUS_THREAD_NOT_STARTED		
E314	VSU_STATUS_NOT_CONFIGERED		

番号	エラーメッセージ		詳細
E315	VSU_STATUS_ALREADY_RUNNING		
E316	VSU_STATUS_NOT_RUNNING		
E317	VSU_STATUS_INITIALIZATION_ERROR		
E318	VSU_STATUS_OPEN_DEVICES_PRESENT		
E319	VSU_STATUS_INVALID_INDEX		
E320	VSU_STATUS_NO_RESOURCES		
E321	VSU_STATUS_INSUFFICIENT_BUFFER		
E322	VSU_STATUS_USBIO_TIMEOUT		【通信エラー】 考えられる原因：ソフトウェアのトラブル→ドライバを更新してください（DBSWINバージョン4.5.3ビルド4460.R5J以上/5.1.1以上）、USBケーブルが長すぎる、パソコンの不具合、デバイスの不具合、妨害波。
E323	VSU_STATUS_USBIO_ERROR		【通信エラー】 考えられる原因：ソフトウェアのトラブル→ドライバを更新してください（DBSWINバージョン4.5.3ビルド4460.R5J以上/5.1.1以上）、USBケーブルが長すぎる、パソコンの不具合、デバイスの不具合、妨害波。
E324	VSU_STATUS_USBIO_VERSION_MISMATCH		
E325	VSU_STATUS_USBIO_DEV_NOT_FOUND		
E326	VSU_STATUS_USB_LEN_ERROR		
E400	VSU_STATUS_FILE_OPEN		
E401	VSU_STATUS_FILE_LEN		
E402	VSU_STATUS_REG_OPEN		
E403	VSU_STATUS_READ		
E404	VSU_STATUS_WRITE		
E406	VSU_STATUS_IHEX_ERROR		
E407	VSU_STATUS_IHEX_CRC_ERROR		
E500	VSU_STATUS_I2C_BUS_ERR		
E501	VSU_STATUS_I2C_START		
E502	VSU_STATUS_I2C_WRITE		
E503	VSU_STATUS_I2C_READ		
E504	VSU_STATUS_I2C_PROM_ADR		

番号	エラーメッセージ		詳細
E506	VSU_STATUS_I2C_PROM_PROG		
E507	VSU_STATUS_I2C_PROM_READ		
E508	VSU_STATUS_USB_REQ_PARAM		
E509	VSU_STATUS_USB_REQ_LEN		
E510	VSU_STATUS_USB_REQ_EXECUTE		
E511	VSU_STATUS_RESET_FPGA		
E512	VSU_STATUS_WRITE_FPGA		
E600	ERR_WRONG_IMAGETYPE	this image operation is not availiable for the given image type (most ops are only availiable for 16Bit).	
E601	ERR_UNKNOWN_IMAGETYPE	Imagetype for the imagefile could not be retrieved.	
E602	ERR_WRONG_IMAGE_FILE	this operation is not availiable for this image file.	
E987	VSU_STATUS_UNEXPECTED		
E998	VSU_STATUS_FUNCTION_NOT_COMPLETED		
E999	VSU_STATUS_FUNCTION_NOT_IMPLEMENTED		
E1000	ERR_INTERFACE_BUSY	LPT interface already in use	プリンターポートが使用済みです。
E1001	ERR_INTERFACE_CONNECTION	Scanner not found	デバイスが接続されていません。電源スイッチと接続を確認してください。
E1002	ERROR	Interface detected more than one device. Please connect only one device!	複数のデバイスを同時に接続して使用することができません。一つのデバイスだけを接続してください。
E1003	ERR_CHECKSUM	Checksum error in firmware file	
E1004	ERR_FPGA_BOOT	Error while reading the firmware	
E1005	ERR_FPGA_LOCKED	FPGA does not react to a reset	
E1006	ERR_IO_TIMEOUT	EPP timeout error	【通信エラー】 考えられる原因：接続ケーブル、パソコンの不具合、デバイスの不具合、妨害波。
E1007	ERR_I2C	I2C bus error	
E1008	ERR_COMMUNICATION	generic communication error with hardware device	
E1009	Slot_notfree	Light barrier not free during activation	挿入口にIPその他か入っています。
E1010	ERR_DEV_TEMP	Temperature in the device is too high	機器内部の温度が高すぎます。温度が下がっても直らない場合は代理店のサポートにご連絡ください。

番号	エラーメッセージ		詳細
E1011	ERR_TIMEOUT	Timeout during user interaction	
E1012	Images_found	There is still data in the FIFO during an open	
E1013	ERR_SERIAL_NO	Wrong serial number	
E1014	ERR_IMAGE_TOO_SMALL	Image file is too small	画像サイズが小さすぎます。
E1015	ERR_IMAGE_UNDER_EXPOSURE	Image exposure too low	照射量が少なすぎます。
E1016	ERR_IMAGE_OVER_EXPOSURE	Image exposure too high	照射量が高すぎます。
E1017	ERR_INVALID_PIXELSIZE	Wrong pixel size	ピクセルサイズが間違っています。
E1018	Image_noisy	Image not sufficiently homogeneous	
E1019	SettingChanged	settings have changed since last calibration	
E1020	ERR_INVALID_CONTEXT	″action not allowed in this context: reopen, restart, reconnect, unhandled error,...″	
E1021	ERR_NOT_CONNECTED	″action not allowed in this context: reopen, restart, reconnect, unhandled error,...″	
E1022	ERR_NOT_INITIALIZED	scanner is still intializing	デバイスのイニシャライズエラー：後ほど再試行してください。
E1023	ERR_CAPTURE_DRIVER	os kernel driver for capture unit failed	
E1024	ERR_IMAGE_DATA_PROCESSING	block buffer overflow (imagefind errors)	
E1025		Scanner is in service mode. Please switch back to operating mode.	
E1026		Scanmode not found or defect. Please correct it or choose another scanmode.	
E1100	ERR_SCAN_TIMEOUT	Cassette did not reach output sensor	時間切れ：カセットが出口のセンサーに達していません（挿入口1）。カセットを取り除いてからデバイスを再起動してください。
E1100	ScanTimeoutSlot1	Cassette did not reach output sensor	時間切れ：カセットが出口のセンサーに達していません（挿入口1）。カセットを取り除いてからデバイスを再起動してください。
E1101	ScanTimeoutSlot2	Cassette did not reach output sensor	時間切れ：カセットが出口のセンサーに達していません（挿入口2）。カセットを取り除いてからデバイスを再起動してください。
E1102	ScanTimeoutSlot3	Cassette did not reach output sensor	時間切れ：カセットが出口のセンサーに達していません（挿入口3）。カセットを取り除いてからデバイスを再起動してください。

番号	エラーメッセージ		詳細
E1103	ScanTimeoutSlot4	Cassette did not reach output sensor	時間切れ:カセットが出口のセンサーに達していません(挿入口4)。カセットを取り除いてからデバイスを再起動してください。
E1104	ERR_ERASOR	Erase lamp do not start	消去灯が点灯しない(挿入口1)。蛍光灯又はLED消去ユニットを取替えてください。
E1104	LampErrorSlot1	Erase Lamp do not start	消去灯が点灯しない(挿入口1)。蛍光灯又はLED消去ユニットを取替えてください。
E1105	LampErrorSlot2	Erase Lamp do not start	消去灯が点灯しない(挿入口2)。蛍光灯又はLED消去ユニットを取替えてください。
E1106	LampErrorSlot3	Erase Lamp do not start	消去灯が点灯しない(挿入口3)。蛍光灯又はLED消去ユニットを取替えてください。
E1107	LampErrorSlot4	Erase Lamp do not start	消去灯が点灯しない(挿入口4)。蛍光灯又はLED消去ユニットを取替えてください。
E1108	ERR_EXIT_BLOCKED	Shuttlemotor blocked	シャトルモーターが引っ掛かっています(挿入口1)。問題を解決し、デバイスを再起動してください。
E1108	ShuttleblockedSlot1	Shuttlemotor blocked	シャトルモーターが引っ掛かっています(挿入口1)。問題を解決し、デバイスを再起動してください。
E1109	ShuttleblockedSlot2	Shuttlemotor blocked	シャトルモーターが引っ掛かっています(挿入口2)。問題を解決し、デバイスを再起動してください。
E1110	ShuttleblockedSlot3	Shuttlemotor blocked	シャトルモーターが引っ掛かっています(挿入口3)。問題を解決し、デバイスを再起動してください。
E1111	ShuttleblockedSlot4	Shuttlemotor blocked	シャトルモーターが引っ掛かっています(挿入口4)。問題を解決し、デバイスを再起動してください。
E1112	ERR_EXIT_PEND	Exit cartridge sensor is blocked or two cartridges at exit	カセットがシャトル入り口に詰まっています(挿入口1)。
E1112	SensorblockedSlot1	Cassette sensor is blocked	
E1113	SensorblockedSlot2	Cassette sensor is blocked	
E1114	SensorblockedSlot3	Cassette sensor is blocked	
E1115	SensorblockedSlot4	Cassette sensor is blocked	
E1116	ERR_ENTRY_BLOCKED	Entrymotor blocked	挿入口モーター(スライダー/搬送モーター)がブロックされています。問題を解決し、デバイスを再起動してください。
E1117	ERR_MALPOSITION	Wrong position after action	デバイス内の搬送部を確認してください(ベルトなどの作動がスムーズかどうか)。
E1118	ERR_OPENED	Component still opened	デバイス本体カバーが外れている。(挿入口のカバー/スライダーが外れている)
E1119	ERR_BLOCKED	Component/Motor blocked	
E1120	ERR_TRANSPORT_BLOCKED	Imageplate transport is blocked	
E1121	EER_PART_MISSING	Any part of the hardware still missing	デバイス本体カバーが外れている。(挿入口のカバー/スライダーが外れている)

番号	エラーメッセージ		詳細
E1122	ERR_REFPOS_NOTFOUND	Reference position was not found	
E1150	ERR_LAMP_TEMP	Erasing lamp overheated	消去器内の温度が高すぎです
E1151	ERR_LAMP_SUPPLY	24V Power for Bleaching failed	ACアダプターの種類が違います。純正の12OWのACアダプターをお使いください。
E1152	ERR_NET_CONFIG_ IMPOSSIBLE	No access to ethernet settings. No network connection or behind router	ネットワーク設定にアクセスできません（接続又はルーター設定を確認してください）
E1153	ERR_SUBSYSTEM	device component in error state because of error in subcomponent	内部部品でエラーが発生しました
E1154	ERR_HARDWARE	common hardware error in electronics	
E1160	ERR_PRISMASPEED_ NOTREACHED	pentaprisma did not settle at required speed	
E1170	ERR_SOL_TIMEOUT	Time-out SOL signal	スキャナーの電源を入れ直してください。 ビスタスキャンミニ：ファームウエアをバージョン1752以上に更新してください。
	ビスタスキャンミニ：「9.1 ファームウェアの更新」の章に従ってファームウェアの更新を行ってください。		
E1171	ERR_LASER	Laser output too high	スキャナーの電源を入れ直してください。
	このエラーが頻発する場合はサポートに連絡してください（レーザーダイオード故障の可能性）。スキャンモードのレーザー出力は自動的に下げられるので、手動設定は不要です。		
E1172	ERR_SOL_TIMEOUT	Time-out SOL signal	スキャナーの電源を入れ直してください。
	このエラーは設置時に機器を低温状態から暖かい室内に搬入した場合に発生することがあります。このエラーが頻発する場合はサポートに連絡してください（ペンタプリスムドライブ故障の可能性）。		
E2000	ERR_RESTRICTED	server process: insufficient permissions	
E2001	ERR_NETWORK_CONNECT	network connection could not be established	ネットワークでデバイスへの接続ができません
E2002	ERR_RESTRICT_REENTRANT	non reentrant function called twice	
E2003	INTERNAL	Timed out waiting for operation to finish /mutex	
E2004	ERR_NET_FORMAT	RPC call or response is malformatted	
E2005	ERR_INVALID_FUNC_PTR	call back function invalid	
E2006	ERR_NO_SCANMODE_ SELECTED	″No scanmode has been selected, but is requiered to continue″	
E2007	ERR_DEVICEID_MISMATCH	The device id in the imda.ini doesn't fit to the id of the connected device	デバイスをのVistaConfigで登録してください。
E2299		This software version is not supported please update your software.	

番号	エラーメッセージ		詳細
E2300		This device model is unsupported. Please use the software that delivered with the device.	
E2343		This operation is not supported on the specified property	
E2344		Invalid value range	
E2345		Property handler missing	
E2346	ERR_PROPERTY_TYPE_UNKNOWN	trying to access unsupported property	
E2347	ERR_PROPERTY_SIZE_MATCH	taget memory insufficient for property request	
E2348		Property type mismatch.	
E2349		Property access error. Property is read or write only.	
E2350		Unknown device property	
E2398		Couldn't get the required memory.	必要のメモリが足りません
E2399		Module loader: could not find symbol in DLL	
E2400		Module loader: could not load DLL	
E2490	ERR_NETPP_CONNECTION_LOST1	Lost connection to device.	デバイスへの接続が切断されました
E2491		Onboard communication failure	
E2492		Communication buffer overrun	
E2493		Communication frame error (parity word length)	
E2494	ERR_NETPP_CONNECTION_LOST	Lost connection to device.	デバイスへの接続が切断されました
E2495	ERR_NETPP_TIMEOUT		チャネルが使用中のためにデバイスへの接続ができませんでした
E2496		Checksum failure.	チェックサムが無効です
E2497		Bad return code. Possible communication failure.	
E2498		Command not acknowledged. Possible communication failure.	
E2499		Communication port initialization failed	
E2500	ERR_NETPP_CONNECT		デバイスへの接続が切断されました。
E3000	ERR_MECH_UNDEFINED	The mechanic is in an undefined state an can not be recovered	

番号	エラーメッセージ		詳細
E3001	ERR_MOTOR	A motor does not behave as expected.	
E3002	ERR_SENSOR	A sensor did not trigger.	
E3003	ERR_SHUTTER	cartridge shutter is not fully open	
E3004	ERR_TRAY	The cartridge tray does not work properly.	
E3005	ERR_ARMCONTROL	The arm controller does not work properly.	
E3006	ERR_ARMOPENPOS	The entry-arm did not reach its 'open' position.	
E3007	ERR_ARMTRAPPED	The arm/the grabbers are trapped in the cartridge	
E3008	ERR_RFIDNOTPROG	The RFID-Transponder is not programmed	
E3009	ERR_NOCARTRIDGE	There is no cartridge in the tray	
E10000	WARN_AMBIENT_LIGHT	Warning: Too much external light during activation	採光過多です。
E10001	WARN_MORE_IMAGES	Warning: There are still images in the image directory during an open	保存先に古い画像ファイルが入っています。
E10002	WARN_FILTER_RESTRICTED	"Filterscript insufficient permissions, Wrong magic number"	フィルタのご使用にはDBSWINをアクティブ化しなければなりません。
E10003	WARN_LIFETIME	End of erasor lamp life reached	消去灯の寿命が終わりました！
E10004	WARN_IMAGE_META_DATA_MISSING	"image has no valid meta information (resolution, ...)"	
E10005	WARN_NO_PREVIEW_AVAIL	GetPreviewLine() called without data available	
E10006	WARN_IMAGE_META_DATA_CORRUPT	"image has invalid or corrupt meta information (resolution, ...)"	
E10007	WARN_INVALID_CONTEXT	"action makes no sense in this context - ignored: reclose, ..."	
E10008	WARN_DEV_TEMP	Device or laser temperature high	機器内部の温度が高すぎます。温度が下がっても直らない場合は代理店のサポートにご連絡ください。
E10009	WARN_VOLTAGE	One of the supply voltages is out of allowed range	ACアダプターを確認してください。
E10010	WARN_DATA_CORRUPT	scanner has invalid or corrupt data information (typically CRC error)	
E10011	WARN_MAINTENANCE_TRANSPORT	End of transport belt life reached	デバイス搬送部の不具合、搬送ベルトの磨耗。搬送ベルトを交換してください。

番号	エラーメッセージ		詳細
E10012	WARN_SUBSYSTEM	″error or warning in subcomponent, but device still working″	コンポーネント部品エラー
E10013	WARN_MAINTENANCE_ CARTRIDGE	End of cartridge life reached	
E10014	Warning	There is no valid calibration file for this sensor	
E10100	WARN_MISSING_ CAPABILITIES	Addressed device lacks some features	ドライバがデバイスより新しいのため、デバイスがすべての機能が対応しません
E10200	WARN_DIR_DOESNT_EXIST	directory name is valid but directory is not existing (yet)	
E12990	WARN_POSSIBLE_ UNPARSED_ENVIRONMENT_ VARIABLE_FOUND		

8.5 ビスタスキャン／プラス／イントラ

8.5.1 スキャンした画像に微かに横線が入る

⇒ ビスタスキャン／イントラ

スキャン方向に対し微かな垂直の線が出る場合は、キャタピラのドライブ（搬送ベルト）をチェックしてください。ベルトが消耗、あるいはスムーズに作動していない可能性があり、この場合は交換してください。

ビスタスキャン製造番号が1077以上の場合は、デンタル画像（4OLPデンタルスキャンモード）で出る微かな横線をレーザーの出力を低くすることで改善できます。 デンタルの場合は出力を5～8、パノラマやセファロは8に設定してください。ただし製造番号が1076以前のビスタスキャンでは全ての設定を通常は8にしてください。

8.5.2 スキャンした画像に縦線が出る

⇒ ビスタスキャン／イントラ

スキャン方向に対し平行な線や縦に走る模様が出る場合は、搬送部内の読み取りを行う部分に埃や髪の毛などが入っている可能性があります。この場合、エンジニアが搬送部分を取り外し、読み取り部のレーザーが出てくる開口部前面を清掃してください。

8.5.3 挿入口のLEDが緑色になっていてもIPが搬送されない

⇒ ビスタスキャン／プラス

ビスタスキャンではIPのサイズをチェックしています。挿入されたIPのサイズを本体が感知し、選択したスキャンモードと一致しない場合はスキャンを中止します。これは誤ったスキャンモードでのスキャンを防止するための機能です。スキャン作業が止まってしまった場合などは、選択したスキャンモードをもう一度ご確認ください。

8.5.4 デンタルIPだけが搬送されない／パノラマは搬送される

⇒ ビスタスキャン／プラス

選択したスキャンモードをご確認ください。もし、デンタルモードを正しく選択している場合は挿入口の間にあるセンサー（5または6番）が壊れている可能性があります。VistaConfigで確認できます。「システムチェック」→「ハードウェアチェック」の画面で「 挿入口のセンサー」のランプ表示が「赤」になっていないか確認してください。もし、5か6番が「赤」になっていれば分解清掃か修理が必要です。

また、一時的に5番6番のセンサーの機能を停止させることができます。それにはD'Toolboxを起動し、「ビスタスキャン／ビスタレイ」のタブを選び、「スキャンモードと一致しないIPのスキャンを阻止」のチェックを外してください。

8.5.5 パノラマ又はセファロスキャンに大きな白い枠がつく

⇒ ビスタスキャン／プラス

ソフトカセット又は本体挿入口のブラシが磨耗すると、スキャン中に室内光が入ってしまうことがあります。そのため、スキャンした画像に大きな白い枠がついてしまいます。この問題が発生した場合は、枠がなくなるようにスキャンモードで閾値を65.535にしてください。 注意！閾値の「65.535」設定は、白いIP（パノラマ、セファロ）のみに使用してください。青色のIP（デンタル）には、この設定が機能する場合とそうでない場合があります。対策を講じてもこの枠が消えない場合は、機器の修理（ブラシとソフトカセットの交換、機器の内部清掃）を依頼してください。

8.5.6 パノラマ、セファロの画質が良くない

⇒ ビスタスキャン／プラス

イメージングプレートの照射面（白）を必ず照射口に向けて撮影してください。裏側から照射してしまうと画質がかなり落ちます。

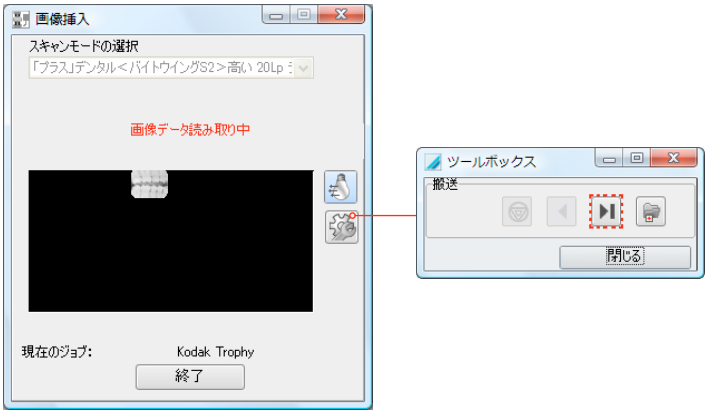
X線装置の金属カセッテの中から増感紙を取り除かなければなりません。そうしないと画質がかなり落ちてしまいます。

良い画質を得るためには、X線装置の照射量とビスタスキャンのスキャンモードパラメータ（HV）を合わせる必要があります。「3.8.4 PMTのHV値と閾値の設定」の章をご覧ください。

8.6 ビスタスキャン ペリオ

8.6.1 プレートガイドが詰まって出てこない

プレートガイドが本体内部に詰まってしまった場合は、スキャンプレビューのウインドウ内「ツールボックス」のボタンをクリックします。次にツールボックス内のボタンをクリックし、詰まっているプレートガイドが出るか試してください。



それでも解決しない場合は、お買い上げの代理店にご相談ください。

代理店の担当者の方へ：まず、本体の電源コードを抜いてください。次に詰まっている方の搬出口の上にあるダークグレーのカバー前面のネジを外して、カバーを下に引き抜きます。

プレートガイドが詰まっている位置を指で確認してください：

①プレートガイドがバッファで詰まっている（挿入口、ロックの前）
プレートガイドが挿入口のすぐ近くの本体上部で詰まっている場合は、プレートガイドを上に押し上げて、戻してください。

②プレートガイドが、レーザー下の黒い跳ね上げフタの中にとどまっている
フタの下を少し上げると、すぐにプレートガイドが落ちてきます。

③プレートガイドが搬出口のシャトル部分上に留まっている
搬出口のシャトル部分が完全に後ろに戻らないと、プレートガイドその上に乗ってしまいます。シャトルモーターのロッドを指で少し回し、シャトルが一番後ろまで行くようにするとプレートガイドが下に落ちてきます。この問題が起きる場合は、モーターシャフトとロッドのつながりがゆるいことが考えられます（ロッドとシャフトはネジでとめて、接着剤で固定する必要があります）。

④イメージングプレートがプレートガイドに正しくセットされていない
まれではありますが、イメージングプレートがプレートガイドからはみ出しているような場合は、プレートガイドがはさまってしまいます。

⑤本体の中の異物
イメージングプレートや保護カバーなどの異物が本体に入っていると、そのためにプレートガイドが引っ掛かってしまいます。本体を開けて異物を取り除き、ガイド部分をアルコールティッシュで消毒してください。

⑥プレートガイドが破損して詰まっている場合
破損したプレートガイドを交換してください。

上記の作業の補助としてVistaConfigを使うことができます。VistaConfigを起動してシステムチェック→ハードウェアチェックで詰まっている方のモーターをONにしてスロットのロックを外してください。下に落ちて来たら、シャトルで出してください。VistaConfigを使用する場合は、開けた機器の中で指をはさまないように十分注意してください。

重要！機器を修理に出す場合は、必ずプレートガイドを一緒に送ってください。

8.6.2 プレートガイドが搬出口に挟まってしまい、出てこない

プレートガイドが搬出口のレバーの後ろに挟まってしまった場合は、以下のようにしてください。

まず、ビスタスキャンペリオの電源プラグを抜きます。次に搬出口上部のレールに沿って動く黒いパーツを手前に引っ張ります（同時に上部金属ロッドが回る）。後ろにスペースができるので、プレートガイドを斜めにして手で取り出してください。

8.6.3 画像が重なって見える

①スキャン後の画像データが完全に消去されなかった場合、次の撮影に残像が出ることがあります。

その原因として、IPをリセットするための消去灯が点灯していないか、故障であることが考えられます。

「消去灯の寿命が終わりました！」

「消去灯が点灯しない」

というエラーメッセージが表示されたら、消去灯を交換してください。

その他の原因としては、スロットに入っているカセットがスキャン後に落ちるのが遅れたため消去時間が短くなり、完全に消去されなかった可能性があります。これは、カセットがスロット内で引っかかってしまったためです。この場合は修理に出してください。

複数のIPをスキャンする場合に最初のスキャン（例：朝一番など）で発生する場合、消去灯の光量が弱い（低い室温で光量が弱まる、蛍光灯使用期間で光量が弱まる）ことが考えられます。この場合、スキャンモードの設定で「IP消去時間」を長くしてみてください（例：18秒）。それでも効果がない場合は蛍光灯を交換してください。

②IPが2回照射され、二重の画像が見える

作業ミスが原因です。例えばIPをカセッテに入れる向きを間違える（照射面を蓋の方に向けてしまう）と、スキャンができず、消去もされないため、その後もう一度照射されると二つの画像が重なって写ります。

その他の原因としては、IPをカセッテに入れる方向は正しいが、一箇所に2枚入れてしまった場合です。そうすると上のIP（蓋の側）はスキャンができず、消去もされないため同様の現象が起こります。

9. ビスタスキャンその他

9.1 ファームウェアの更新

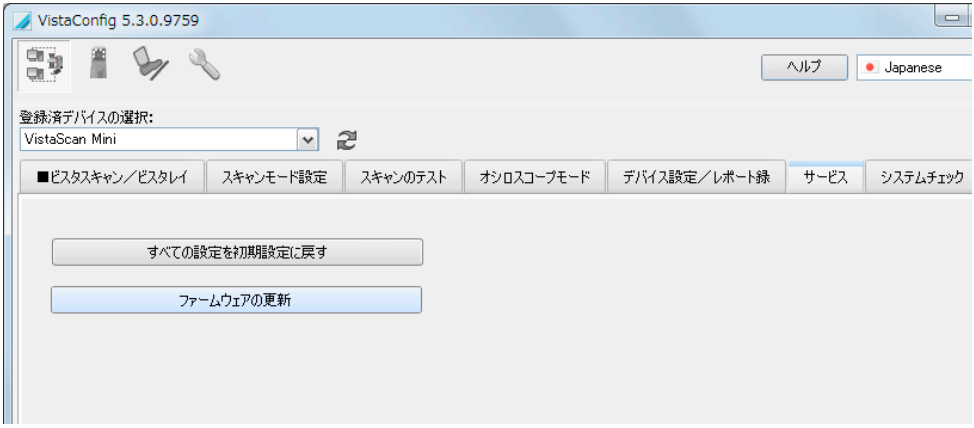
ファームウェアを更新すると、デバイス機能が改善され、直面している問題が解決します。ファームウェアの更新は以下のように行ってください。

①ビスタスキャンの電源を入れ、VistaConfigを開いて、そのデバイスが登録されているかを確認します：登録したデバイスのリスト上にチェックが入っているかを確認します。

②「サービス」のタブをクリックして開きます。「登録済デバイスの選択」のリストで、ビスタスキャンのデバイスを選択します。「ファームウェアの更新」のボタンをクリックします。

③ファイルを開くダイアログで、以下のファームウェアのファイルを選んで更新を行ってください。
ビスタスキャン ミニ → 2141-402-01_app-update （ファイル ○○.info と似ているので注意！）
ビスタスキャン コンビ ビュー → 2151-400-20_app-update （ファイル ○○.info と似ているので注意！）
ビスタスキャン ミニ ビュー → 2142-402-20_app-update （ファイル ○○.info と似ているので注意！）

ファームウェアの最新バージョンは、最新のDBSWINのDVDの＜devices¥「製品名」＞フォルダに入っています。



9.2 ビスタスキャン ミニのレーザー出力の設定

ビスタスキャンミニでは、レーザーの出力が高すぎると自動的に修正します(ファームウェア1752以上)。しかし、境界値において、高過ぎることを感知できない場合があります。その場合は画像にストライプが入ることがあります。これを防ぐためにレーザー出力を以下のように6に設定してください。

①VistaConfigを起動します

②「スキャンモード設定」を選択して、「登録済のデバイスの選択」からVistaScan Miniを選びます

③「一般設定」を選び、下部のボタン「スキャンモードのエクスポート」をクリックしてビスタスキャンミニのスキャンモードにファイル名を付けて、保存します

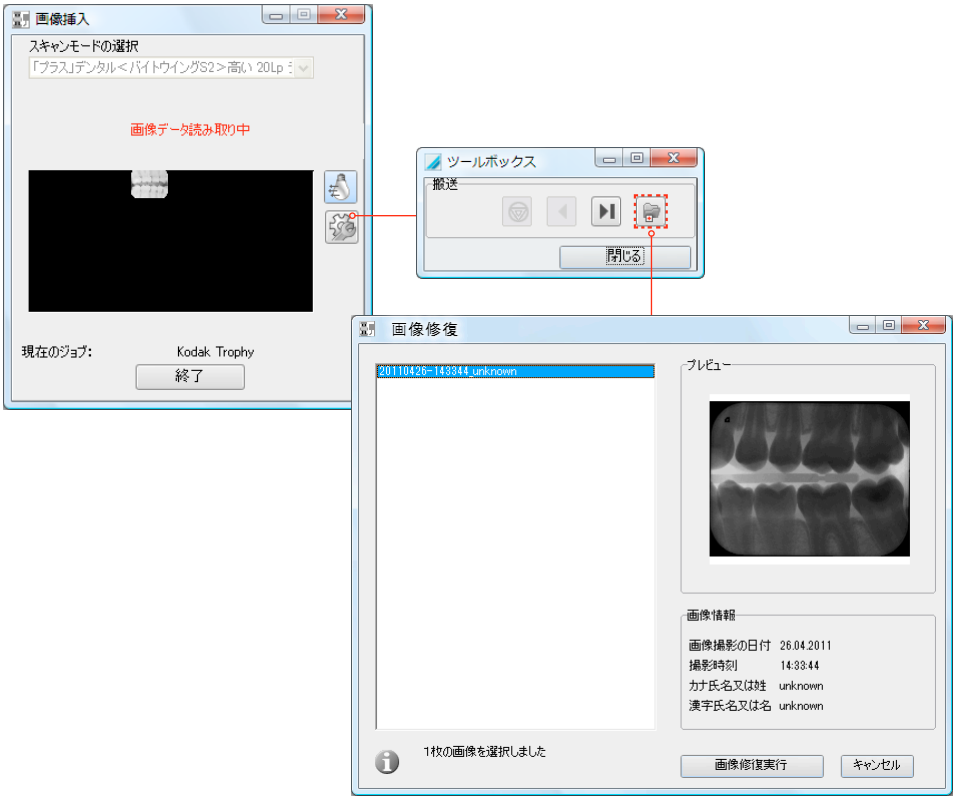
④そのファイルをメモ帳で編集、中のLaser=8を検索して全てLaser=6に置き換え、保存します

⑤「スキャンモードのインポート」ボタンで新しい設定をインポートします

10. 他社製ソフトで画像挿入する際のトラブル

10.1 画像修復

ビスタスキャンのドライバソフトウェアが、スキャン時自動的に画像のバックアップを取ります。他社製ソフトウェアを使用して問題が起きた場合、画像修復機能で画像ファイルをバックアップのフォルダから開き、他社製ソフトウェアに再転送することができます。
画像挿入を他社製ソフトウェアで行う際、画像挿入プレビュー画面で「ツールボックス」を開き、「画像修復」のボタンをクリックします。表示された「画像修復」のダイアログに従って以前撮影した画像を再度他社製ソフトウェアに転送することができます。



以下のフォルダで画像のバックアップを14日間保管します（初期設定）。
%AppDataCommon%\Duerr\images
Windows 7: C:¥ProgramData¥Duerr¥imageBacklog
Windows XP: C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Duerr¥imageBacklog

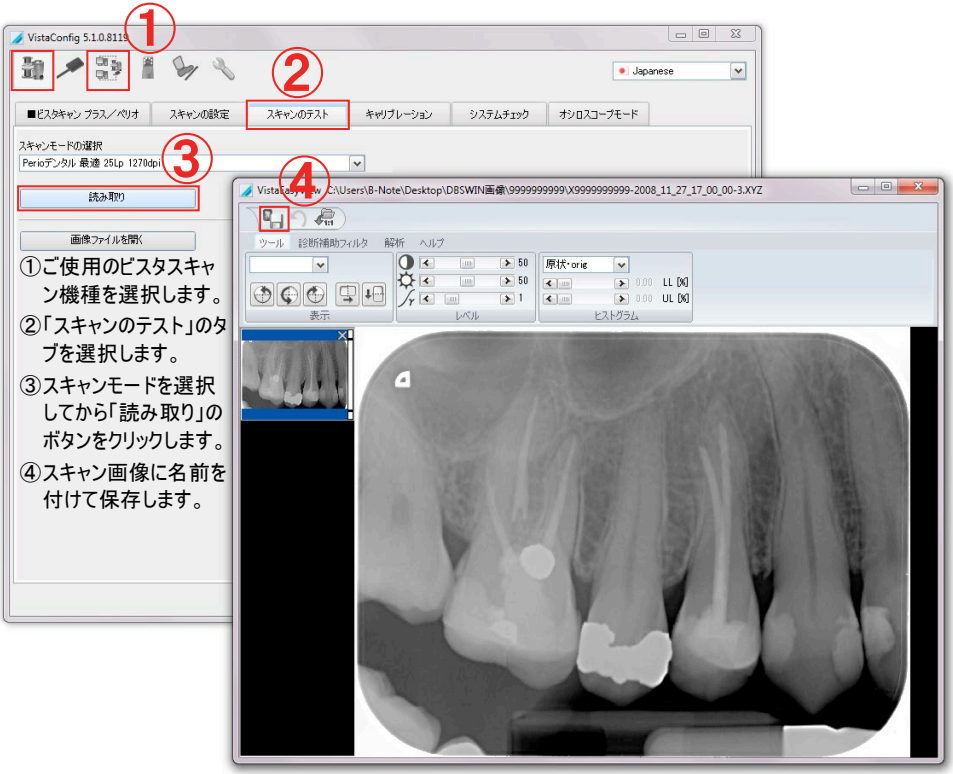
画像バックアップの保管期間はD'To:lbox（Dツールボックス）のソフトで設定できます。

10.2 画像挿入時、他社製ソフトがフリーズ／クラッシュしてしまう

原因は他社製のソフトェアにあるため、ソフトウェアの製造会社にご相談ください。
問題に対処するため、以下のフォルダに入っているファイルを削除してください。
%AppDataCommon%\Duerr\images
Windows 7: C:¥ProgramData¥Duerr¥images
Windows XP: C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Duerr¥images
%AppDataCommon%\Duerr\jobs
Windows 7: C:¥ProgramData¥Duerr¥jobs
Windows XP: C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Duerr¥jobs

10.3 他社製ソフトでの画像挿入ができなくなってしまった

原因は他社製のソフトェアにあるため、ソフトウェアの製造会社にご相談ください。
問題が解決するまでは、VistaConfigのソフトウェアで画像をスキャンすることができます。VistaEasyViewの画面で様々な画像処理機能を使い、画像診断ができます。その際、後でご使用のソフトウェアにインポートできるように画像を患者名と日付を付けて保存しておいてください。



11. エラー申告方法

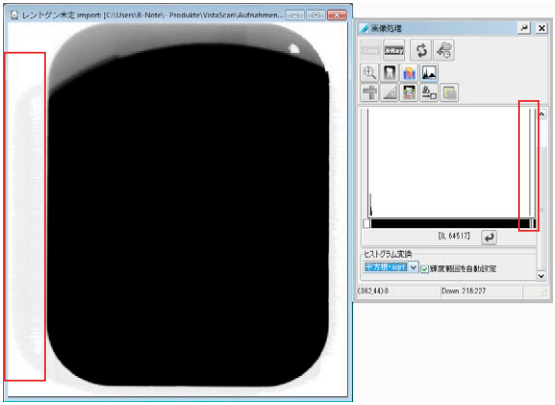
万が一、弊社の製品にトラブルが発生した場合には、できるだけ速やかに対応させていただきたいと考えております。トラブルの内容を的確に把握するために、お手数ではございますが、以下の情報をご提供くださいますようお願い申し上げます。
尚、エラーが発生した状況や内容に関する詳細な情報がいただけない場合は、原因を調査することができませんのでご了承ください。

〇問題を詳細にお知らせください
〇その問題が起きた時、どのような作業中だったかをお知らせください
〇エラーメッセージが表示された場合、そのスクリーンショットを取る（Shift+PrtScnキー）か又は内容をそのままメモしてください。
〇その問題はしばしば発生しますか、それとも一回きりですか？
〇画像エラーが発生する場合は、オリジナルの画像（.xyz 又は xtf. 形式）と画像の予備ファイル（.im0 .ima など）をご送付ください。他社製のソフトウェアを使用する場合、imageBacklogのフォルダからのオリジナル画像をサポートに送付してください。
〇ソフトウェア又はデバイスのエラーが発生する場合は、DBSLOGを開き、メニュー「Help」→「Make Support Zip-File」を選んでエラーの記録と詳細情報をデスクトップに保存するZIPファイルを作成します。このファイルをサポートに送付してください。

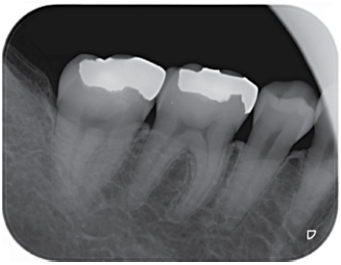
12. エラー画像の例

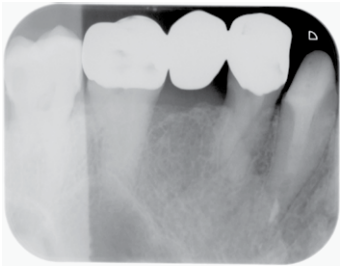
以下はエラー画像と、その原因です。これらのエラーが発生することは滅多にありませんが、万が一発生した場合、原因を特定するためにお役立てください。

画像エラー	原因 →	対策
01.画像にコントラストが少なく明るすぎる、画像にノイスがあり	○照射量が少なすぎ、設定のHV値も低すぎる ○IPがソフトカセッテから取り出され、室内光により画像が劣化した	○照射量に合うように、HV値を高くしてください ○IPをスキャン前にソフトカセッテから出さないでください



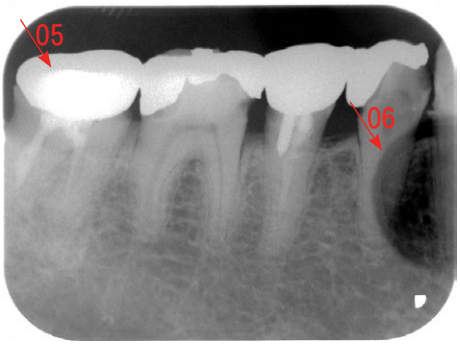
画像エラー	原因 →	対策
02.画像が真っ黒になった	○X線装置の故障による照射量過剰（ヒストグラムの右側のピークと画像の周りの影）	○X線装置の修理



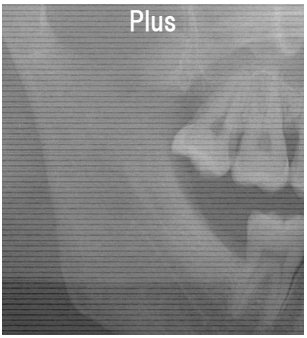


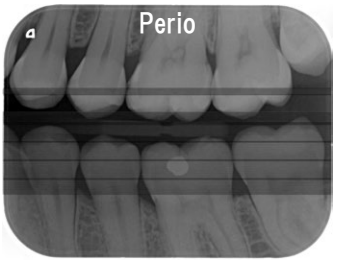
画像エラー	原因 →	対策
03.画像の一部分が他の部分より極めて明るい	○X線装置のチューブが撮影対象（IP）からずれている。 ○撮影時、X線装置のチューブとIPの間にX線を吸収する物質があった。 ○スキャン前にIPの一部が保護カバーか出され、室内光にさらされた。 ○ビスタスキャンプラス：IPのスキャンが完全に終了していないのにカセットを取り出してしまったため、一部の画像が消えてしまった。 ○ビスタスキャンミニ：IPのスキャンが完全に終了していないのに保護カバーを取り出してしまったため、一部の画像が消えてしまった。	○取扱説明書に従って正しくスキャン作業を行ってください。 ○X線装置を点検してください。X線装置内のフィルタ部分などが剥がれていないかを確認してください。 ○ビスタスキャンを点検してください。レーサーとイメージングプレートの間に障害物がないかを確認してください（IPが機器内の読取装置の中に入ってしまった）。

画像エラー	原因 →	対策
04.レントゲン画像に古い画像が重なって影のように写っている	○一度照射したイメージングプレートをスキャンせずに、再度照射した。 ○イメージングプレートを反対方向に挿入口に入れてしまったため、画像が読み込まれず、消去もされていない。 ○スキャンモードの設定で消去がOFFになっている。 ○前回の画像が消去されず、次の画像に重なって写った。考えられる原因：ビスタスキャンの消去LEDの故障（エラー表示）。あるいは、X線装置の故障で照射量が非常に高くなっている。	○イメージングプレートの使用方法を守って作業を行ってください。 ○スキャンモードの設定を確認してください。 ○代理店のサポートにご連絡ください。

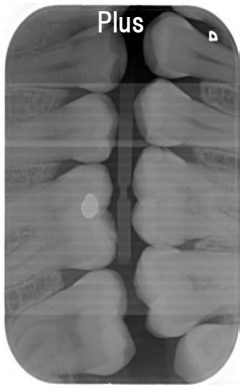


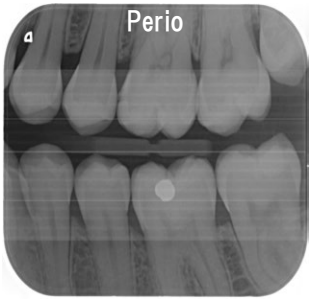
画像エラー	原因 →	対策
05.白く抜けた部分がある（特に金属やインレイなど）	○諧調が閾値より低い領域は白になる：照射量が少なすぎ、HV値の設定も低すぎる	○照射量に合わせて、HV値を高くしてください
	○IPが保護カバーから取り出され、室内光により画像が劣化した	○IPには必ずデュールデンタル社純正の遮光面付き保護カバーを使用し、画像が室内光に当たって劣化しないよう注意してください。
	○ご使用の他社製ソフトウェア（例：コダック社のTrophyバージョン6.x）は16ビット諧調の画像に対応していないため、画像を8ビットに変換します。	○画像を8ビットに変換すると、諧調が65．535→256に減ります。その際、画質が落ちて診断に悪影響を及ぼす可能性があります。最良の画質によるより良い診断のためには、弊社オリジナルソフトウェア「DBSWIN」をご使用いただくことをお勧めします。
06.黒い正体不明の物体が見える	○デュールデンタル社純正保護カバーを使用しなかったため、IPを持つ指が光を遮り、それ以外は室内光によって劣化した。	○同上
	○IPの向きを間違えて保護カバーに入れたため、照射面に室内光が当たってしまった。	○IPを保護カバーに入れる際、照射面を保護カバーの黒い遮光面に向けてください。



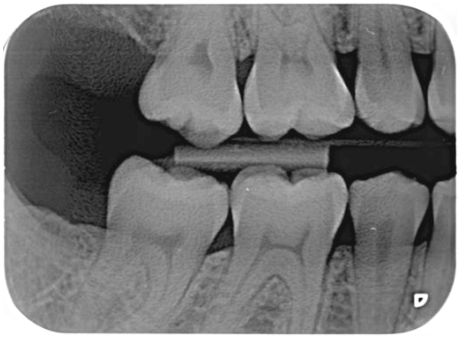


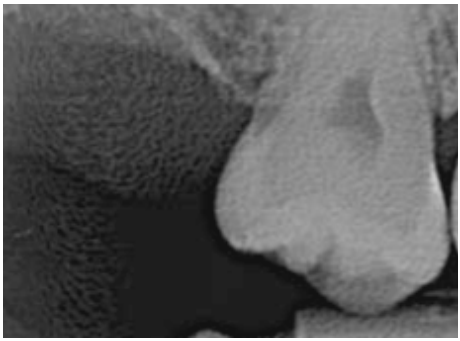
画像エラー	原因 →	対策
07.画像にラインが入る	○本体搬送部の不具合、搬送ベルトの磨耗／搬送ホイルの磨耗	○搬送ベルトを交換してください／ペリオの場合、搬送ホイルを交換してください ○搬送部を清掃してください



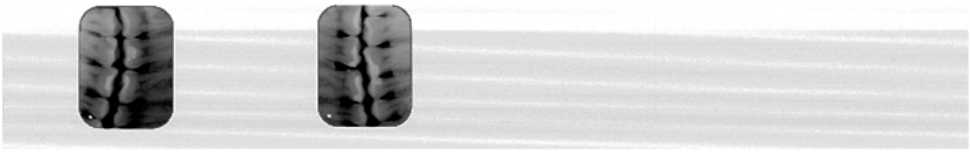


画像エラー	原因 →	対策
08.画像が引き伸ばされる	○本体搬送部の不具合、搬送ベルト／搬送ホイルの磨耗	○搬送ベルトを交換してください／ペリオの場合、搬送ホイルを交換してください ○搬送部を清掃してください ○ペリオ：カセットが破損してスムーズに搬送しない場合は取り替えてください

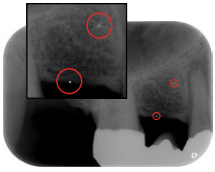




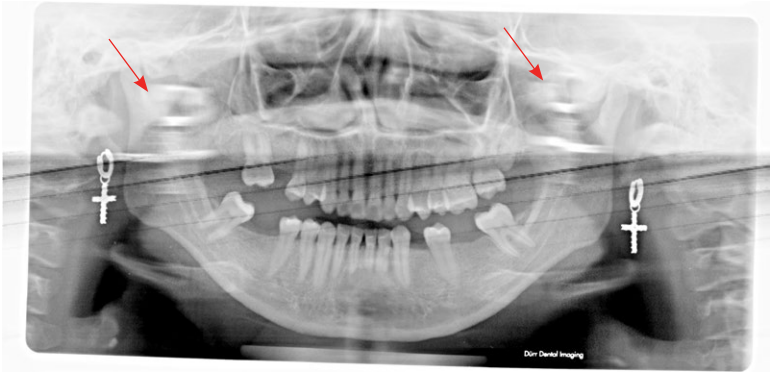
画像エラー	原因 →	対策
09.画像全体に模様が見える	○レーザーの焦点設定が正しくない、又はレーザーモジュールの故障 ○IPの表面が磨耗	○レーザーの修理 ○IPの取替え



画像エラー	原因 →	対策
10.複数のIPをスキャンしたのに、ひとつの大きい画像で表示されてしまう／画像の周辺に白い枠がある	○室内光が強すぎてスキャナー本体の中まで入ってしまう ○HV値の設定が高すぎる／閾値の設定が低すぎる ○ビスタスキャン／プラス：遮光ブラシの磨耗により光が本体内部まで入ってしまう	○室内光が本体内部に入らないように設置を変更する ○閾値を高くする／HV値を低くする ○ビスタスキャン／プラス：遮光ブラシを交換する

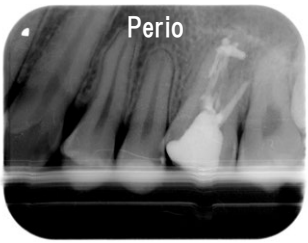


画像エラー	原因 →	対策
11.画像に傷や白点がある	○IPの汚れ ○IPの破損、例えば傷など ○オクルーザル撮影時についた歯の跡	○IPクリーナーで清拭（製品番号：CCB351B1001） ○IPを取り替える ○IPを取り替える。オクルーザルIPを保護するためにバイトプロテクターを使用する。（製品番号：2130-074-03）

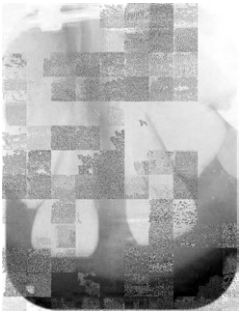


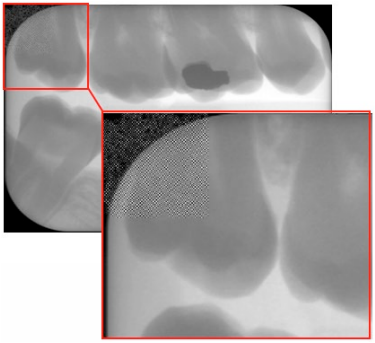
画像エラー	原因 →	対策
12.画像の中央に斜めの黒い線が入る／白い影が写っている（赤い矢印）	○室内光が強すぎてスキャナー本体の中まで入ってしまう（斜めの黒い線は蛍光灯のフリッカーが原因） ○スキャンが終了する前にソフトカセットを挿入口から外してしまった ○ソフトカセットのスポンジが古くなり遮光効果がなくなった ○遮光ブラシの磨耗により光が本体内部まで入ってしまう ○イヤリングの影が写りこんでしまった（赤い矢印）	○室内光が本体内部に入らないように設置を変更する ○スキャン作業中は、光が入るのを防ぐため、挿入口にソフトカセットを差し込んだままにし、挿入口のLEDが全て緑色に変わるまで外さないでください。 ○ソフトカセットを取り替える ○遮光ブラシを交換する ○金属のアクセサリーは外してもらう

画像エラー	原因 →	対策
13.画像の左右を超えて黒いエリアがある	○強い電磁波を発する他の機器が周辺に存在する（例：エレベーターのモーター、パノラマ装置、コンプレッサー）	○他の機器の電磁波を遮断する ○本体の設置場所を変更する ○パソコンの電源接続にノイズフィルターを取り付ける ○パソコンの電源供給を取り替える ○全ての接続ケーブルにノイズフィルターを取り付ける

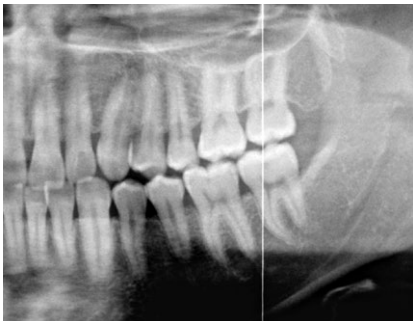


画像エラー	原因 →	対策
14.画像に白い線や波線が入る	○読み取りレーザー発光出口に異物があり、レーザー光を邪魔している	○修理を依頼してください レーザーの発光出口から異物を撤去し、掃除機で吸い取って清掃する

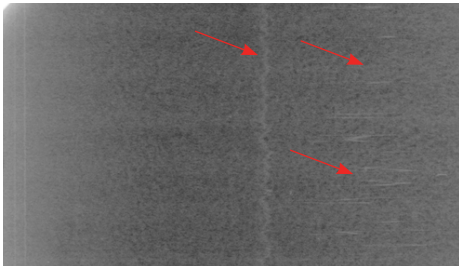


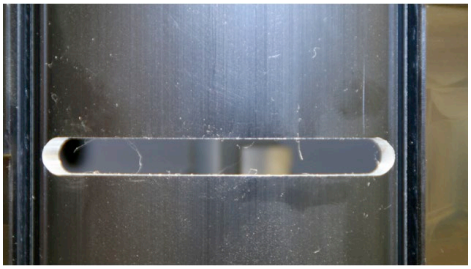


画像エラー	原因 →	対策
15.モザイク状の模様が出る	○パソコンの故障（CPU又はメモリーのエラー）	○パソコンの修理

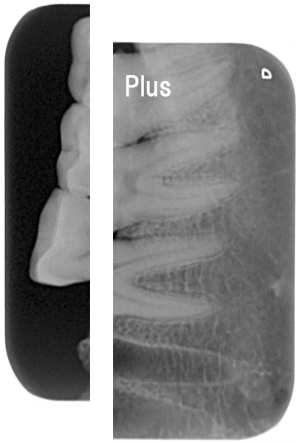


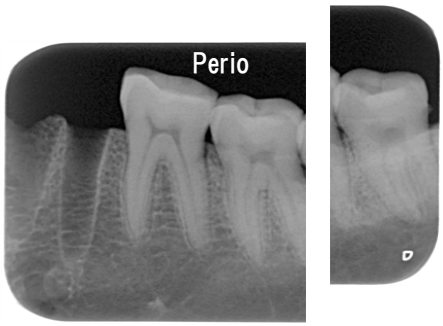
画像エラー	原因 →	対策
16.白いジグザグ、直線が入る	○読み取りレーザー発光出口に埃や髪の毛が付着しており、レーザー光を邪魔している	○修理を依頼してください レーザーの発光出口から埃や髪の毛を除去し、掃除機で吸い取って清掃する



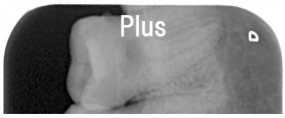


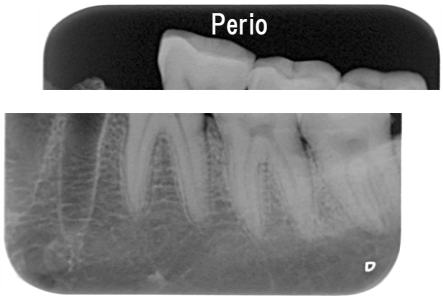
画像エラー	原因 →	対策
17.非常に細い白いジグザグ線が入る	○読み取りレーザー発光出口に蜘蛛の巣が張って、レーザー光を邪魔している	○修理を依頼してください レーザーの発光出口を掃除機で吸い取って清掃する





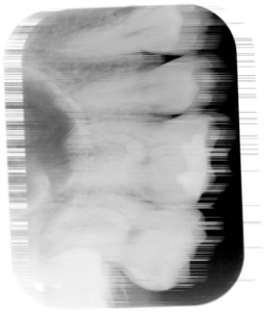
画像エラー	原因 →	対策
18.画像が縦（搬送方向）に分割される	○読み取りレーザー発光出口に髪の毛など（太い束のような物）が付着していたため画像が分割され、ソフトが画像を2枚であると判断してしまった	○修理を依頼してください レーザーの発光出口を掃除機で吸い取って清掃する

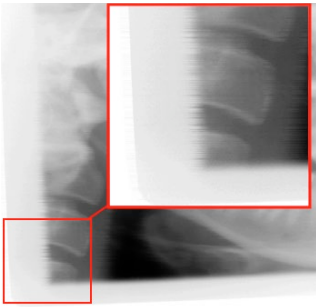


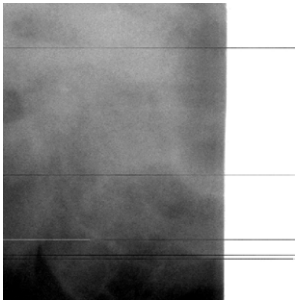


画像エラー	原因 →	対策
19.画像が横（搬送方向に大して十字）に分割される	○本体のレーザー又はPMTの故障	○修理を依頼してください

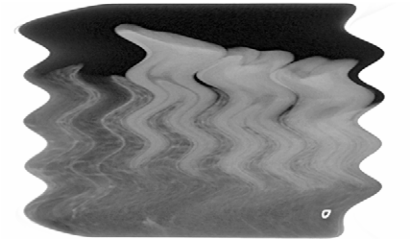
画像エラー	原因 →	対策
20.濃淡があるラインを境に急に変わっている（数箇所で発生することもあり、常に搬送方向に対して十字方向に表れる）	○本体のPMTの故障	○修理を依頼してください



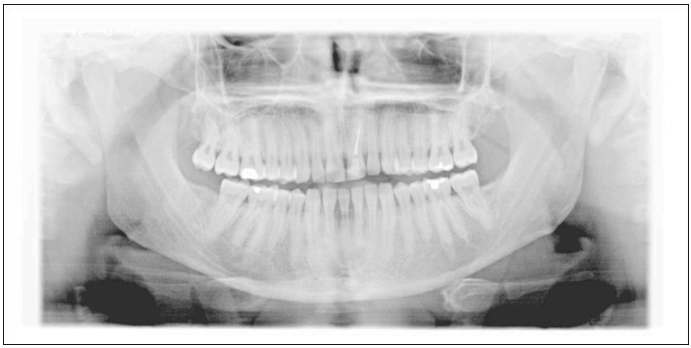




画像エラー	原因 →	対策
21.画像が乱れ、線が枠をはみ出している	○本体のSOLセンサーが機能しない（傷、汚れ又は故障）	○修理を依頼してください

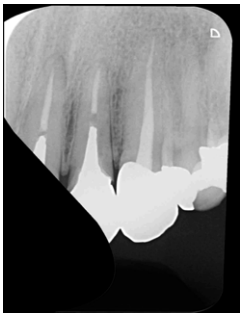


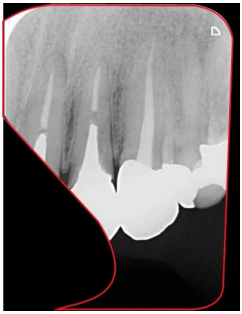
画像エラー	原因 →	対策
22.画像が枠ごと波打っている	○本体のペンタプリズムの故障	○修理を依頼してください



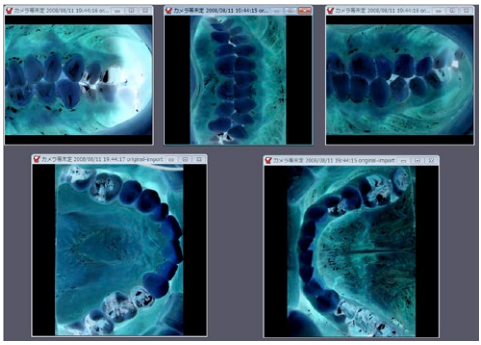
画像エラー	原因 →	対策
23.白い枠が出てしまう、予備画像が出てしまう、画像の左右にノイズ又	○古いドライバソフト（DBSWIN4.3以下）を使用している	○常に新しいバージョンをお使い下さい（4.5.3／5.2以上）
	○室内光が強すぎてスキャナー本体の中まで入ってしまう	○室内光が本体内部に入らないように設置を変更する
	○スキャンが終了する前にソフトカセットを挿入口から外してしまった	○スキャン作業中は、光が入るのを防ぐため、挿入口にソフトカセットを差し込んだままにし、挿入口のLEDが全て緑色に変わるまで外さないでください。
	○ソフトカセットのスポンジが古くなり遮光効果がなくなった	○ソフトカセットを取り替える
	○ビスタスキャン／ビスタスキャンプラス：遮光ブラシの磨耗により光が本体内部まで入ってしまう	○ビスタスキャン／ビスタスキャン プラス：遮光ブラシを交換する
	○撮影パラメーターがスキャンパラメーターに合わない	○閾値を高くする／HV値を低くする／撮影パラメーターをを高くする

画像エラー	原因 →	対策
24.パノラマやセファロ画像が歪んでしまう	○本体搬送部の不具合、搬送ベルトの磨耗	○搬送ベルトを交換してください ○搬送部を清掃してください

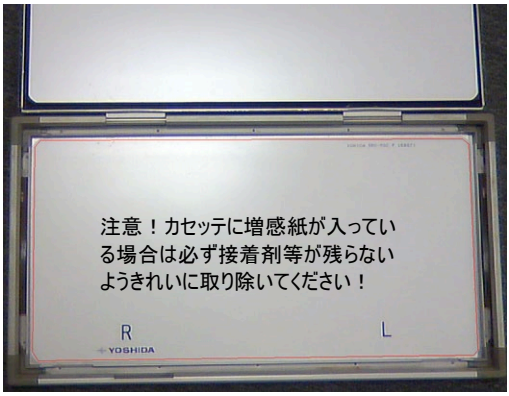




画像エラー	原因 →	対策
25.画像に黒い部分がかぶっている、コーナーマスクを掛ける範囲が間違っている	○DBSWINバージョン5.2のバグが原因。 ○コーナーマスク機能の自動設定が間違っているため、画像の角や枠に黒いマスクを被せてしまう。	○DBSWINバージョン5.3以上のアップデートをインストールしてください。 ○DBSWINをご使用の場合：画像処理ボックスで「コーナーマスク」のボタンをクリック、左下の「周縁修正」ボタンをクリックすると画像上に赤い線が現れ、マスクのラインを修正することができます。 ○他社製のソフトウェアをご使用の場合：もう一度画像挿入を開始して、画像修復の機能を使いビスタイージービューの画面でコーナーマスクを無効にして画像を再転送してください。詳細は「10.1 画像修復」を参照。

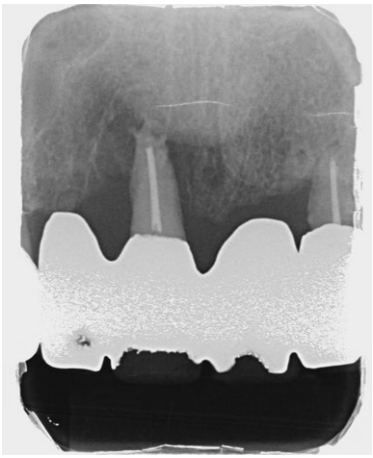


画像エラー	原因 →	対策
26.グループで保存された口腔カメラの画像をグループで開く時、画像がネガになってしまう（画像を一枚ずつ開いてもネガにならない）	○DBSWINバージョン5.0／5.1／5.2のバグが原因。	○DBSWINバージョン5.3以上のアップデートをインストールしてください。



画像エラー	原因 →	対策
28.パノラマやセファロ画像が呆ける、ノイスが入る	○カセッテの中には増感紙(スクリーン)が貼られています。	○パノラマ／セファロの撮影には、増感紙無しのフィルムカセッテが必要です。もし、既にお持ちのフィルムカセッテに増感紙が入っている場合は必ず接着剤等が残らないようきれいに取り除いてください。

画像エラー	原因 →	対策
29.ビスタスキャンミニ: 画像に太いストライプが入り、ストライプの間の情報が欠落している、画像が歪んでしまう	○レーザーの出力が高過ぎる	○「9.1 ファームウェアの更新」の章に従ってファームウェアをバージョン1752以上に更新してください。 ○「9.2 レーザー出力の設定」に従い、レーザーの出力を6にしてください。 ○改善しない場合はサポートに連絡してください。



画像エラー	原因 →	対策
30.ビスタスキャンミニ: image is ausgefranst an den seiten, kratzer und loecher im bild	○IP is damaged	○IP has been used too long. Dispose of old IP and use new IP. Always exchange IP as soon as signs of mamou occur. Worn out IP cannot display bright grey, turning it to white and cuts images in half.
31.Image is broken up into two parts, cut in the white area		○Using 8-bit software or 8-bit setting will reduce the bright grey level to white and cut image into pieces (here in the center of the bridge). Use only 16-bit software like DBSWIN and change settings to a level that even metal bridges do appear grey instead of white. Remark: This is only valid if new IP is used, settings cannot be changed to correct problems which occur with completely damged IPs as shown on the images above,

DÜRR DENTAL AG（ドイツ）
Höpfigheimer Straße 17
74321 Bietigheim-Bissingen
www.duerr.jp

DÜRR DENTAL